

TCF_コロナ禍における健全者と障害者調査 レポート

2020/10/13

Contents

1	調査概要	p2
2	レポート	
	■ サマリー編	p3
	■ データ編	p6
	1.新型コロナウイルス拡大に伴う生活の変化	p7
	2.外出自粛による変化	p12
	3.自宅でできるエンターテインメントやアートの必要性	p19
	4.新型コロナウイルス感染に関する意識	p22
	5.新型コロナウイルス感染拡大に伴う意識の変化	p25
	6.新型コロナウイルス収束後の生活への意識	p28
	7.ダイバーシティ浸透度（前回聴取設問）	p32
3	Appendix	p39

調査目的

- 日本財団が社会的マイノリティとの「心の壁」を減らすための解決策として発信してきた「接する」「知る」ことを物理的ではなく本質的に捉え、広く理解させる
- 本質的な「接する」「知る」を体現するうえでのオンラインとエンターテインメント/アートの重要性を明らかにし、TCFの今後のプロジェクトの有用性を訴求する
- コロナ禍での生活者の経験（外出自粛、行動の制限など）を通じて、障害者の置かれている状況を理解させ、ダイバーシティ&インクルージョンの重要性を広く再認識させる

調査対象者 & 割付

【共通条件】

- 日本在住の16～59歳・男女

【対象者割付】

上記共通条件を満たす対象者を、健常者・障害者それぞれ右下表のように割り付けた。その際の障害者の定義は以下の通り

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳いずれかを保有
- ご自身が回答できない場合は、同居家族がご本人の立場で代理回答

また、障害者のサンプル不足は以下の順で補填した

1. 同居家族の代理回答で補填
2. 同一障害の年齢違いで補填

▼割付表 ※：（）は代理回答数

	割付セル	N
健常者	1 男性16-24歳	309
	2 男性25-40歳	309
	3 男性41-59歳	309
	4 女性16-24歳	309
	5 女性25-40歳	309
	6 女性41-59歳	309
障害者	7 視覚障害_16-40歳	103
	8 視覚障害_41歳-59歳	104(26)
	9 聴覚または平衡機能の障害_16-40歳	103
	10 聴覚または平衡機能の障害_41歳-59歳	103
	11 音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害_16-40歳	114(9)
	12 音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害_41歳-59歳	88(49)
	13 肢体不自由_16-40歳	103
	14 肢体不自由_41歳-59歳	103
	15 内部障害_16-40歳	103
	16 内部障害_41歳-59歳	103
	17 知的障害_16-40歳	146(43)
	18 知的障害_41歳-59歳	62(40)
	19 精神障害（発達障害含む）_16-40歳	103
	20 精神障害（発達障害含む）_41歳-59歳	103
	全体	3295

調査手法

- インターネット調査(SCR調査、本調査)

調査時期

- 2020年9月

サマリー編



【まとめ】新型コロナウイルス感染症下における障害者・健常者の状況

障害者・健常者の、新型コロナウイルス感染拡大後の変化は以下の通り

		共通	障害者	健常者	
日常生活の変化	日常生活	「休日・余暇の過ごし方」が最も変わったことである	77.8%に変化あり。健常者と比べて「 家族・パートナーとの接し方 」「 可処分所得の使い道 」が変わっている。	84.0%に生活の変化あり。	P.8-9
	実態	新型コロナウイルスの情報は毎日チェックし、ニュースを見る機会も増えている	91.4%が自粛を経験し、78.0%は今も自粛をしている。特に視覚障害者は28.5%が現在も常に外出自粛をしている。 健常者と比べて普段の生活で欠かせない行動を自粛している。健常者と比べて情報格差を感じたり、前向きになれる情報や海外の情報も集めている	93.7%が自粛を経験し、78.8%は今も自粛をしている。現在も常に外出自粛をしているのは10.5%。 障害者と比べて余暇に関わる行動を自粛している。	P.10-11 P.18
外出自粛での変化	ネガティブ要素	感染を回避するための衛生管理に不自由・苦労・辛さを感じる	健常者と比べると「医療・福祉サービスの享受」「社会保障」など自身に直結する要素に不自由・不安を覚える。 特に視覚障害者は全般的に不自由・辛さ・不安を感じやすい	障害者と比べると「 外食 」「 旅行 」など自宅外での余暇の楽しみ方に直結することに 不自由 を感じ、「 経済の低迷 」「 感染の収束 」など 社会全体への不安 を感じやすい。	P.13-15
	ポジティブ要素	オンラインでの楽しみ方を実行する人が増加。 自粛を経て、「健康」「人と接すること」の大切さを再認識した	自身の不安な気持ちを払しょくするためにもオンラインでのエンターテインメント・アートに必要性を感じている。 「不自由な生活の大変さ」「人の支え」を再認識できた と感じている	ストレス発散・リラックス になるため オンラインでのエンターテインメント・アートに必要性を感じている。	P.16-17 P.20-21
価値観の変化	価値観	衛生・健康意識が変化した	57.2%に価値観の変化があり、86.9%がそれを継続すると考えている。「 (親しい人に限らず) 他者・社会について知る 」「 困難な人を思いやる 」など 他者理解・寛容の大切さを再認識 。	57.8%に価値観の変化があり、87.4%がそれを継続すると考えている。 親しい人の存在・人と接することの大切さを再認識 している	P.26-27
新型コロナ収束後	新型コロナ収束後	個人では衛生・健康、情報収集、オンラインの活用の継続を考え、社会には「 経済の回復 」を期待する	「医療体制」「社会保障」「マイノリティへの理解・配慮の浸透」 を期待している	障害者と比べると 「医療体制」「社会保障」「マイノリティへの理解・配慮の浸透」 は期待しない	P.29-31

【Topics】オンラインとエンターテインメント/アートの重要性

本調査の主たる目的であるオンラインとエンターテインメント/アートの重要性について、詳細に確認した

オンライン

- 【障害者】【健常者】いずれも自粛期間後に「ネットサーフィンを除くオンラインでの楽しみ」を行っている。特に【健常者】は自粛前後で7.2ptの差があり、新型コロナウイルス拡大に伴いオンラインが生活において重要になってきていると言える。

【ネットサーフィンを除くオンラインでの楽しみ方実施状況】

※ネットサーフィンを除くオンラインでの楽しみ方=p16にて黄色の項目

	n=	自粛前	自粛後	自粛後- 自粛前
障害者計	1,441	54.0	55.7	1.7
健常者計	1,854	47.0	54.2	7.2
		(%)		(pt)

P.16

- 【障害者】【健常者】いずれも約60%がエンターテインメント・アートを必要だと思っており、重要性が見て取れる。特に【視覚障害】は63.8%がエンターテインメント・アートを必要だと回答している。必要だと思う理由としては、【障害者】、特に【知的障害】【精神障害】では「心身ともに健康に暮らす上で欠かせない」「不安な気持ちを紛らわす」ことがあがる。

エンターテインメント・アート

【自宅でできるエンターテインメントやアートの必要性】

必要だと思う

	n=	そう思う	ややそう思う	そう思う計
障害者計	1441	24.2	34.7	58.9
視覚障害	207	33.3	30.4	63.8
聴覚または平衡機能の障害	206	25.7	34.5	60.2
音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害	202	20.3	42.1	62.4
肢体不自由	206	25.7	34.0	59.7
内部障害	206	20.4	33.0	53.4
知的障害	208	22.1	31.3	53.4
精神障害（発達障害含む）	206	21.8	37.9	59.7
健常者計	1854	18.4	38.8	57.2

必要だと思う理由（「そう思う計」ベース）

	n=	ストレス発散のため	リラックスするため	いらすからえで欠かせない	心身ともに健康に暮らす	が必要だから健康に暮らす	びの代りなみや遊	屋外での楽しみ	わすため気持ち紛ら	不安な気持ち紛ら	前向きになるため	め豊かな感性を磨いた	時間をつぶすため	と文化の醸成・発展は	社会的に必要だと	繋がる回復・発展に	経済のため	友人と共通の体験を	家族・パートナーとの	のモチベーション維持	仕事や学習に対する	必要だから	刺激やインプットに	仕	その他
障害者計	849	48.9	42.6	39.8	39.6	33.8	33.0	29.0	28.4	28.3	27.2	25.3	20.0	17.0	0.6										
視覚障害	132	38.6	35.6	42.4	40.9	30.3	34.8	29.5	22.7	31.1	29.5	27.3	22.0	21.2	0.0										
聴覚または平衡機能の障害	124	44.4	37.1	32.3	32.3	29.0	25.0	29.8	28.2	31.5	23.4	31.5	19.4	12.9	0.8										
音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害	126	40.5	33.3	33.3	39.7	26.2	23.8	25.4	24.6	32.5	28.6	25.4	23.8	21.4	0.8										
肢体不自由	123	46.3	45.5	35.0	42.3	30.1	34.1	25.2	28.5	22.0	28.5	20.3	15.4	10.6	0.8										
内部障害	110	56.4	48.2	44.5	40.0	31.8	36.4	30.0	30.9	29.1	30.0	19.1	25.5	18.2	0.0										
知的障害	111	55.9	44.1	46.8	43.2	45.9	43.2	31.5	36.0	30.6	19.8	30.6	21.6	20.7	0.0										
精神障害（発達障害含む）	123	62.6	56.1	45.5	39.0	44.7	35.0	31.7	29.3	21.1	30.1	22.8	13.0	13.8	1.6										
健常者計	1,060	56.0	52.3	36.3	43.5	26.9	40.4	29.4	25.8	22.8	25.6	18.6	17.7	10.6	0.6										

P.20-21

データ編



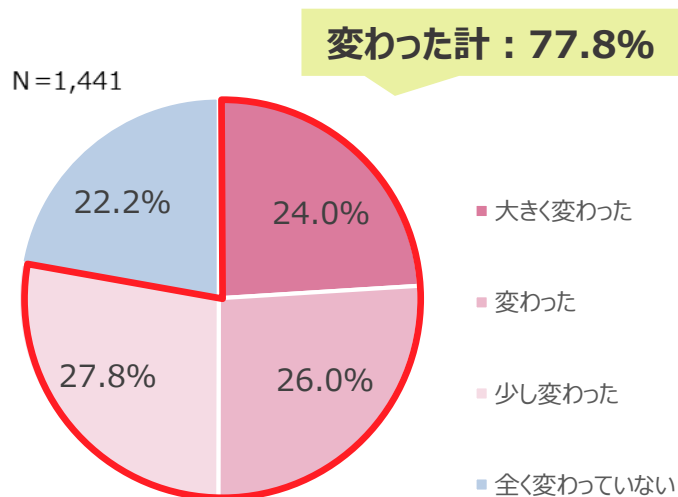
1.新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活の変化

新型コロナウイルス拡大に伴う日常生活の変化

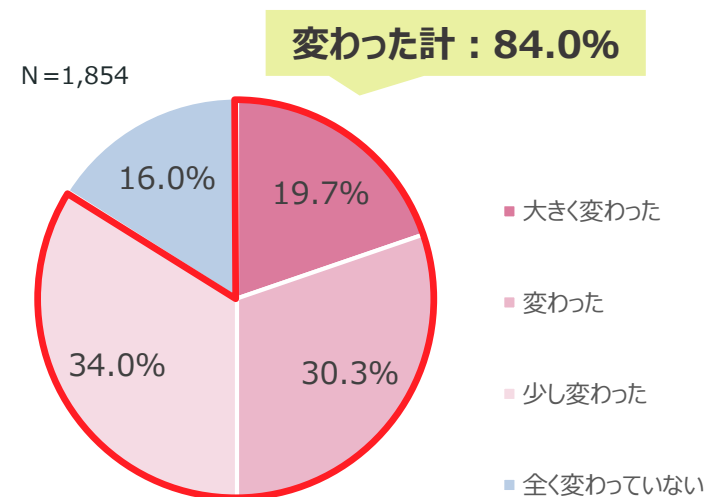
- 【障害者】の77.8%、【健常者】の84.0%が、新型コロナウイルス拡大に伴って日常生活が「変化した」と回答した。
- 特に「大きく変わった」で見ると【障害者】24.0%、【健常者】19.7%と【障害者】の方が4.3ptスコアが高い。

Q1 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日常生活は以前と変わりましたか？（SA）

障害者



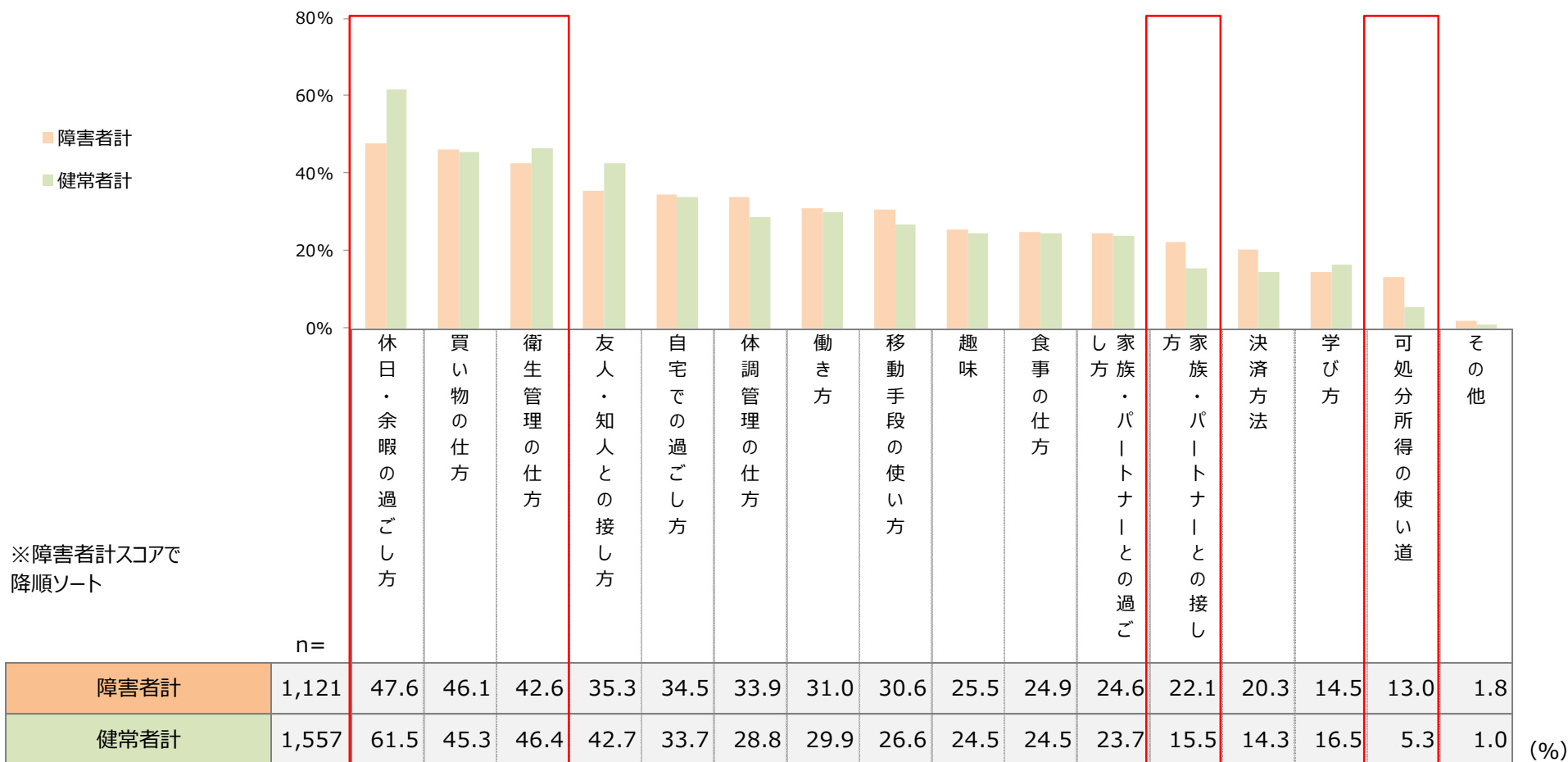
健常者



日常生活で変わったこと

- 日常生活で変わったことは、「休日・余暇の過ごし方」が【障害者】は47.6%、【健常者】は61.5%で最も高い。次いで「買い物の仕方」「衛生管理の仕方」が【障害者】【健常者】ともに40%以上と続く。
- 「可処分所得の使い道」は【障害者】13.0%に対し【健常者】5.3%、「家族・パートナーとの接し方」は【障害者】22.1%に対し【健常者】15.5%と、いずれも【障害者】の方がスコアが高く、より変化を感じている。

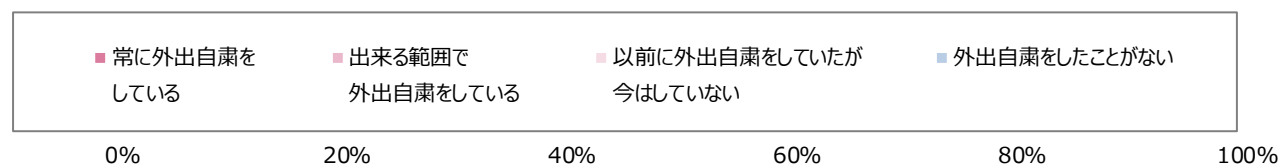
Q2 前問で、「変わった」と回答された方へ伺います。日常生活で変わったことは何ですか？（MA）



外出自粛状況

- 【障害者】の91.4%、【健常者】の93.7%が外出自粛を経験。現在も外出自粛を続けている人は【障害者】で78.0%、【健常者】では78.8%である。
- 【障害者別】でみると、【視覚障害】は28.5%が「常に外出自粛をしている」と回答。障害別に比べてもスコアが最も高く、拡大後の状況に関わらず外出を継続している様子が伺える。

Q3 新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、外出自粛をしていますか（しましたか）？(SA)

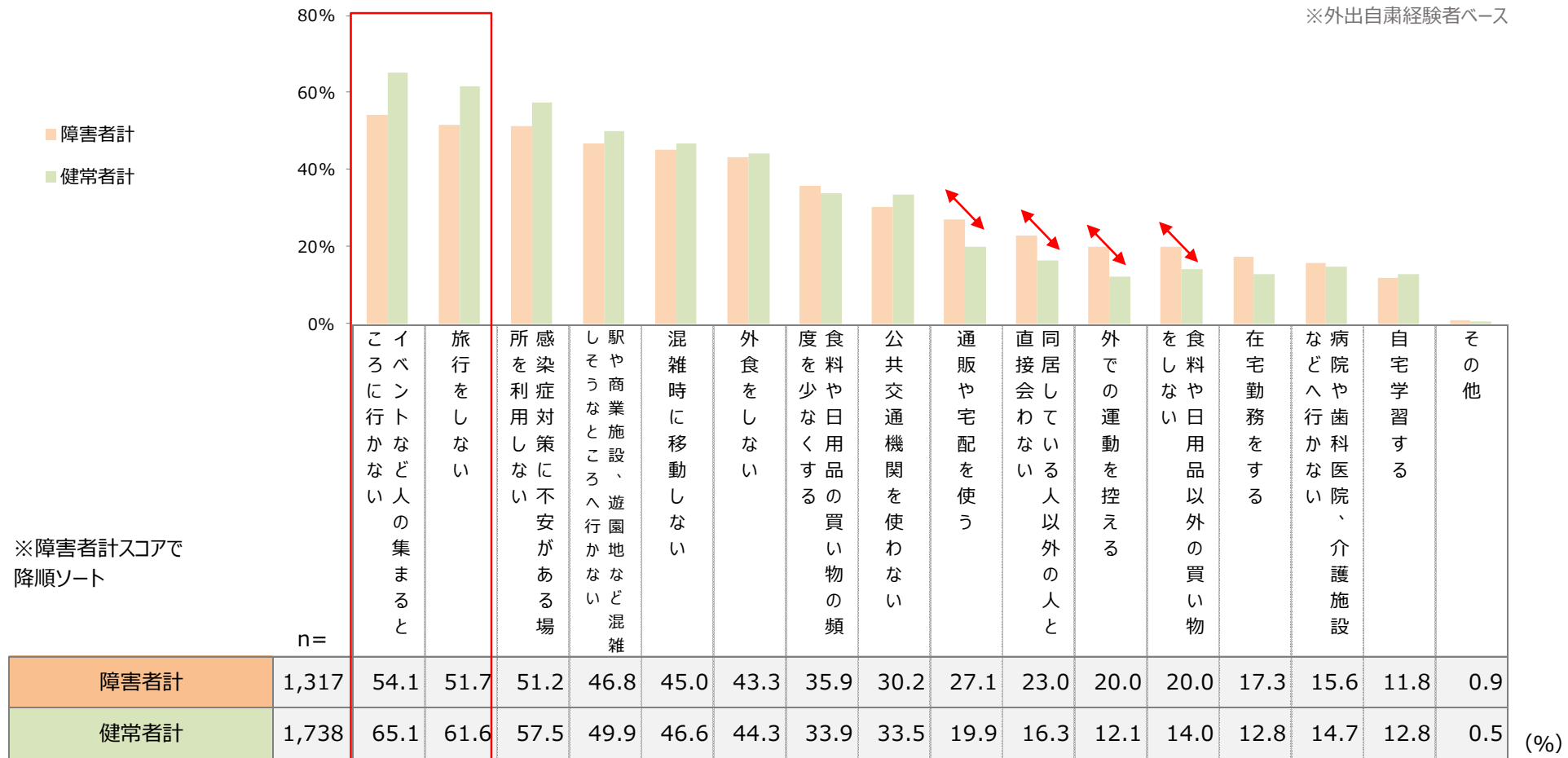


	n=	常に外出自粛をしている	出来る範囲で外出自粛をしている	以前に外出自粛をしていたが今はしていない	外出自粛をしたことがない	自粛経験あり計	現在自粛者計
障害者計	1,441	20.8	57.2	13.4	8.6	91.4%	78.0%
視覚障害	207	28.5	51.7	12.6	7.2	92.8%	80.2%
聴覚または平衡機能の障害	206	25.7	52.4	14.6	7.3	92.7%	78.1%
音声機能、言語機能またはそしゃく機能の障害	202	21.3	59.4	11.9	7.4	92.6%	80.7%
肢体不自由	206	18.0	56.8	14.6	10.7	89.4%	74.8%
内部障害	206	16.5	62.1	14.1	7.3	92.7%	78.6%
知的障害	208	17.3	59.6	17.3	5.8	94.2%	76.9%
精神障害（発達障害含む）	206	18.4	58.3	8.7	14.6	85.4%	76.7%
健常者計	1,854	10.5	68.3	14.9	6.3	93.7%	78.8%

具体的な自粛内容

- 「イベントなど人が集まるところに行かない」のスコアが【障害者】54.1%・【健常者】65.1%で最も高い。次いで「旅行をしない」が【障害者】51.7%、【健常者】61.6%と続く。
- 【障害者】は、【健常者】と比べ「通販や宅配」「同居人以外と会うこと」「外での運動」「食料や日用品以外の買い物」などより生活に根付いたことを控えている傾向がみられる。

Q4 前問で、【外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた】と回答された方へ伺います。外出を自粛するために、どのようなことをしています（していました）か？（MAMT）

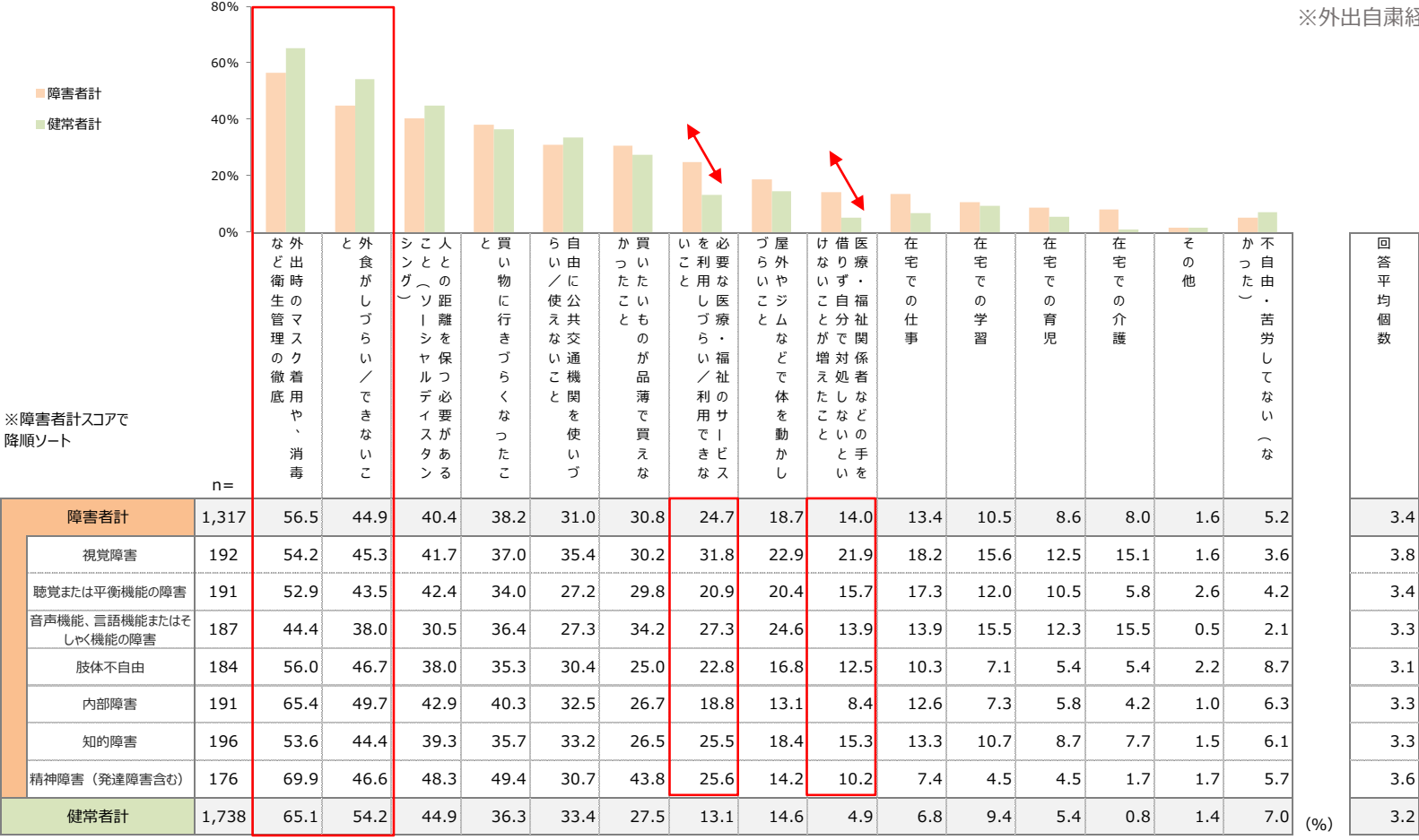


2.外出自粛による変化

外出自粛の中で不自由・苦勞している（していた）こと

- 【障害者】【健常者】ともに「衛生管理の徹底」のスコアが最も高い。まず衛生面は不自由・苦勞の大前提であると言える。また、【障害者】【健常者】ともに「外食がしづらい／できないこと」が続いており、コロナ禍で共通の困難を抱えていることが分かる。
- 【障害者】と【健常者】を比べると「必要な医療・福祉のサービスの利用」「医療・福祉関係者の手を借りず自分で対応」のスコアが高い。これらは障害者の中でも特に【視覚障害者】のスコアが高い。

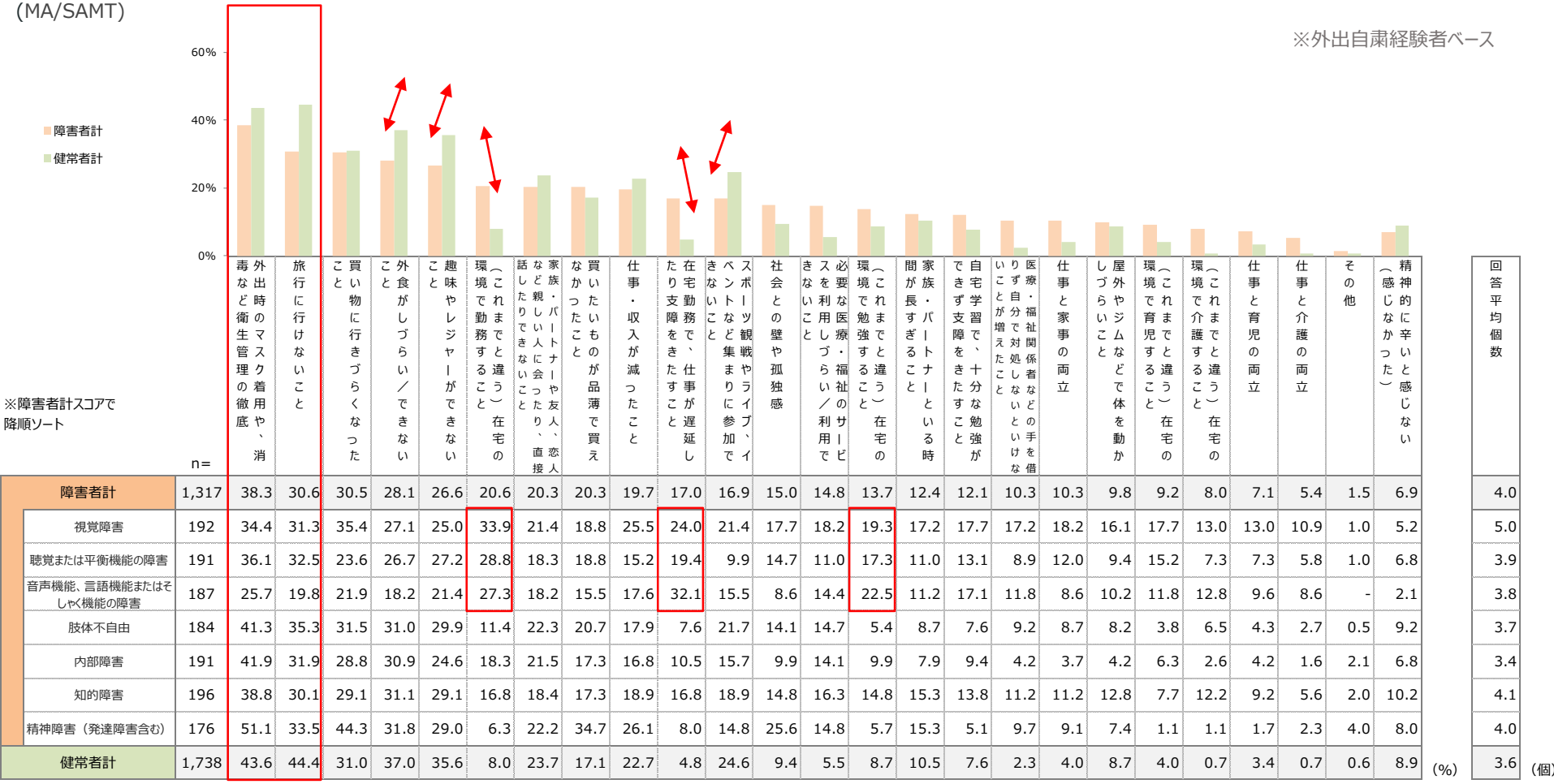
Q5 Q3で、【外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた】と回答された方へ伺います。外出を自粛する中で日常生活のどんなことに不自由・苦勞しています（していました）か？【当てはまるものすべて】(MA/SAMT)



外出自粛の中で辛いと感じる（た）こと

- 【障害者】では「衛生管理の徹底」が38.3%で最も高い。一方で【健常者】では「旅行に行けないこと」のスコアが44.4%で最も高い。他に【障害者】は「在宅勤務」「在宅勤務による仕事の影響」など生活に根差した部分により辛さを感じ、【健常者】は「趣味やレジャー」「外食」の制限など余暇に関わる部分により辛さを感じている。
- 【障害者】で「在宅勤務」に関わるスコアは【音声・言語機能またはそしゃく機能の障害】【視覚障害】【聴覚または平衡機能の障害】の人のスコアが高い。

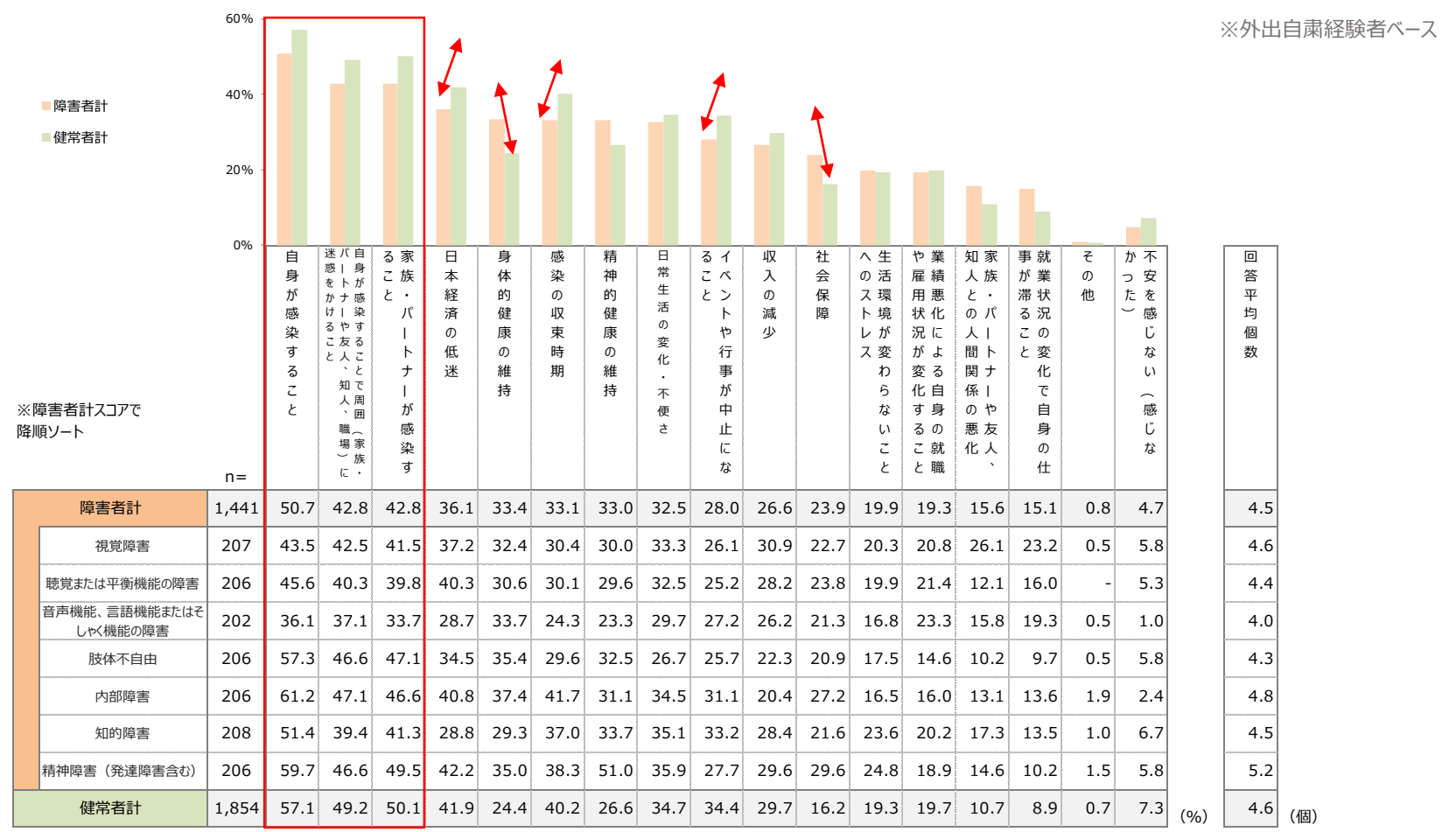
Q6 Q3で、【外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた】と回答された方へ伺います。外出を自粛する中でどんなことを精神的に辛いと感じます（感じました）か？【当てはまるものすべて】(MA/SAMT)



外出自粛中に不安を感じる（た）こと

- 【障害者】【健常者】ともに「自身が感染すること」「家族・パートナーが感染すること」「自身が感染することで周囲（家族・パートナーや友人、知人、職場）に迷惑をかけること」が共通して上位3項目にあがる。
- 【健常者】よりも【障害者】の方が「身体的健康の維持」「社会保障」など自身に直結する不安を感じやすい、【障害者】よりも【健常者】の方が「感染の収束時期」「日本経済の低迷」など社会に対する不安を感じやすい傾向がある。【障害者】は、新型コロナウイルス感染拡大によって、自身の不自由な生活がより保障されづらくなっている可能性がある。

Q7 新型コロナウイルスの感染が広がる中でどのような不安を感じます（感じました）か？【当てはまるものすべて】(MA/SAMT)



外出自粛中の楽しみ方

- 【障害者】【健常者】ともに自粛前後でのスコア差が最も高いのは「オンラインのビデオ通話」であり、人に会えない中でオンラインを活用した接触をしていると言える。
- また、【障害者】【健常者】いずれも「オンライン」での行動のスコアが全般的に上昇しており、自宅でもオンラインで様々な楽しみを享受している様子。

Q8 外出自粛をする前後でのご自宅での楽しみ方を教えてください。
(MAMT)
※ネットサーフィンを除くオンラインの行動を黄色くハッチング

	障害者 N=1,441			健常者 N=1,854		
	外出自粛前	外出自粛後	自粛後-自粛前	外出自粛前	外出自粛後	自粛後-自粛前
オンラインのビデオ通話で人と話す	6.4%	9.8%	3.4p t	3.0%	9.4%	6.4p t
オンライン動画配信サービスの視聴	19.2%	21.8%	2.6p t	17.2%	22.6%	5.4p t
オンラインゲーム	14.4%	16.0%	1.6p t	12.8%	12.7%	-0.1p t
オンライン動画サイトの視聴	27.8%	29.3%	1.5p t	28.9%	31.1%	2.2p t
テイクアウト・デリバリーでの食事	11.4%	12.8%	1.4p t	6.7%	10.8%	4.1p t
オンライン学習	5.8%	6.8%	1.0p t	2.0%	5.4%	3.4p t
オンラインでのバーチャル旅行	5.6%	6.2%	0.6p t	0.8%	1.3%	0.5p t
オンラインエクササイズ	4.8%	5.0%	0.2p t	1.2%	3.1%	1.9p t
オンラインでの芸術鑑賞	8.0%	8.1%	0.1p t	3.0%	4.6%	1.6p t
料理	16.0%	15.9%	-0.1p t	15.9%	18.7%	2.8p t
オンラインショッピング・お取り寄せ	19.5%	19.1%	-0.4p t	14.8%	16.3%	1.5p t
ウェブメディアの記事の閲覧	28.2%	26.9%	-1.3p t	23.4%	23.9%	0.5p t
絵を描く	8.6%	7.1%	-1.5p t	4.4%	4.1%	-0.3p t
DIY	8.5%	6.9%	-1.6p t	4.7%	4.0%	-0.7p t
読書	25.2%	23.5%	-1.7p t	22.4%	21.5%	-0.9p t
ネットサーフィン	33.7%	31.7%	-2.0p t	33.2%	31.3%	-1.9p t
エクササイズ（オンライン以外）	8.5%	6.4%	-2.1p t	6.4%	5.7%	-0.7p t
SNSの閲覧	27.7%	25.5%	-2.2p t	34.4%	31.2%	-3.2p t
SNSの発信	14.2%	11.8%	-2.4p t	10.9%	10.1%	-0.8p t
ゲーム（オンライン以外）	19.8%	17.1%	-2.7p t	20.1%	20.0%	-0.1p t
SNSでの人とのコミュニケーション	16.7%	14.0%	-2.7p t	15.7%	14.6%	-1.1p t
睡眠	29.9%	26.9%	-3.0p t	34.3%	32.1%	-2.2p t
音楽鑑賞	29.6%	25.8%	-3.8p t	31.6%	27.3%	-4.3p t
TV視聴	39.4%	35.1%	-4.3p t	42.0%	39.2%	-2.8p t
映画・ドラマ・アニメ鑑賞（オンライン以外）	32.0%	25.1%	-6.9p t	36.7%	29.1%	-7.6p t
スポーツ鑑賞	17.1%	9.4%	-7.7p t	16.0%	9.2%	-6.8p t
その他	2.8%	1.4%	-1.4p t	1.8%	1.1%	-0.7p t
楽しみはない（なかった）	6.1%	9.2%	3.1p t	9.0%	11.9%	2.9p t

※障害者の差分のスコアで降順ソート

外出自粛をして良かったこと

- 【障害者】【健常者】ともに「健康の大切さを実感できた」のスコアが最も高く、次いで「人と接することの大切さを認識できた」が続く。健康への意識の高まりに加えて、人と接することの重要性が再認識されている様子が伺える。
- 【健常者】よりも【障害者】の方が「周囲の人に支えられながら生活していることを実感できた」「多くの人が、制限ある不自由な生活の大変さを経験した」のスコアが高い。特に「周囲の人に支えられながら生活していることを実感できた」は【視覚障害】の人がより実感している様子。

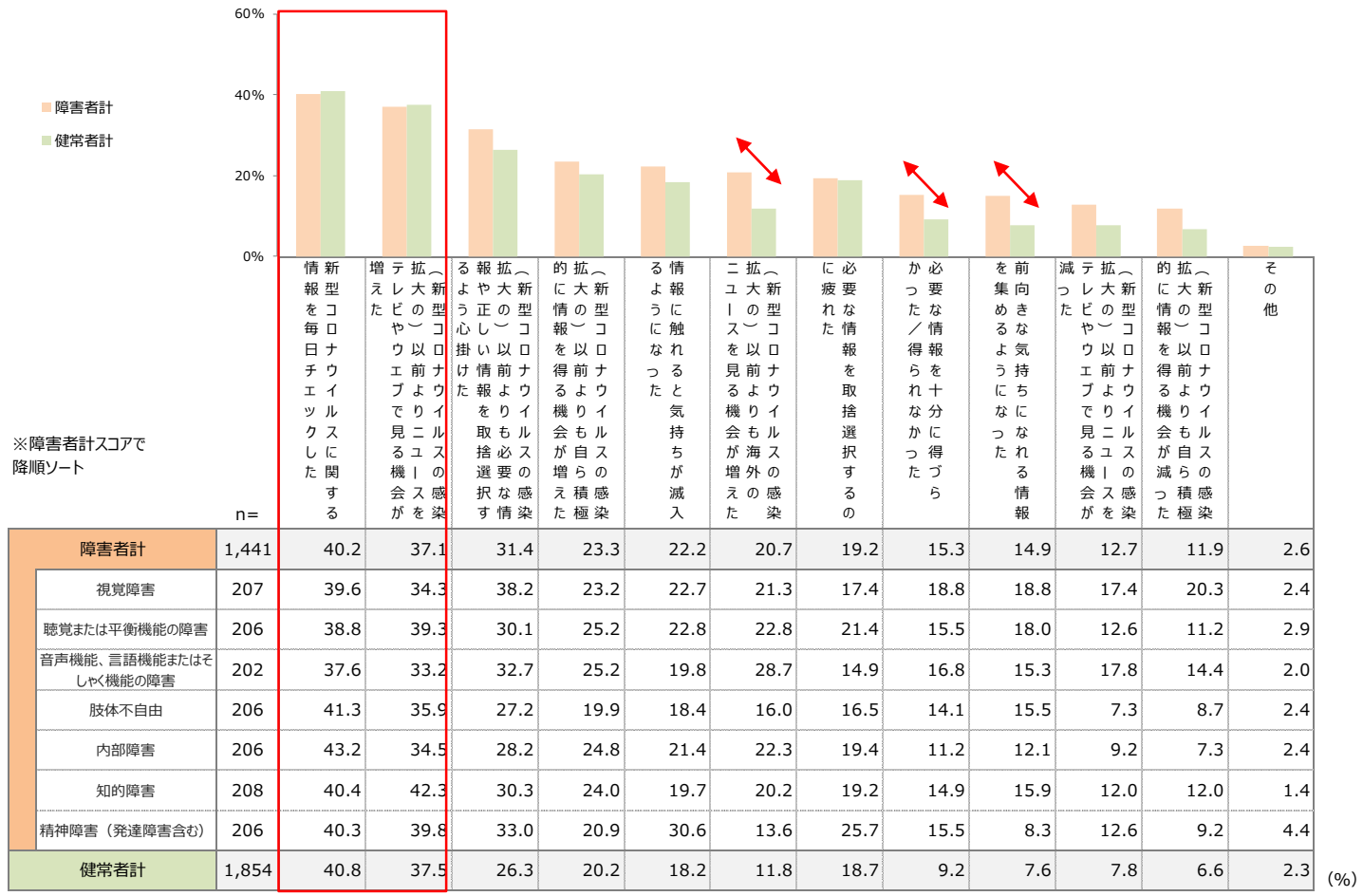
Q9 新型コロナウイルスの影響により、外出を自粛したことで感じた「良かったこと」は何ですか？（いくつでも） ※外出自粛をしていない方は、外出自粛が推奨されていた期間についてお答えください。(MA)



外出自粛中の情報収集

- 【障害者】【健常者】いずれも、「新型コロナウイルスに関する情報を毎日チェックした」のスコアがそれぞれ40.2%・40.8%で最も高い。次いで「以前よりニュースを見る機会が増えた」が【障害者】の37.1%、【健常者】の37.5%と続く。
- また、「海外のニュースを見る機会が増えた」「必要な情報を得づらかった／得られなかった」「前向きになれる情報を集めるようになった」は【障害者】のスコアが高い。障害者と健常者間の情報格差があること、障害者が不安の払しょくのため様々な情報を求めていることが伺える。

Q10 外出自粛中の情報収集について、あなたの状況に当てはまるものをお答えください。（いくつでも） ※外出自粛をしていない方は、外出自粛が推奨されていた期間についてお答えください。（MA）



3. 自宅でできるエンターテインメントやアートの必要性

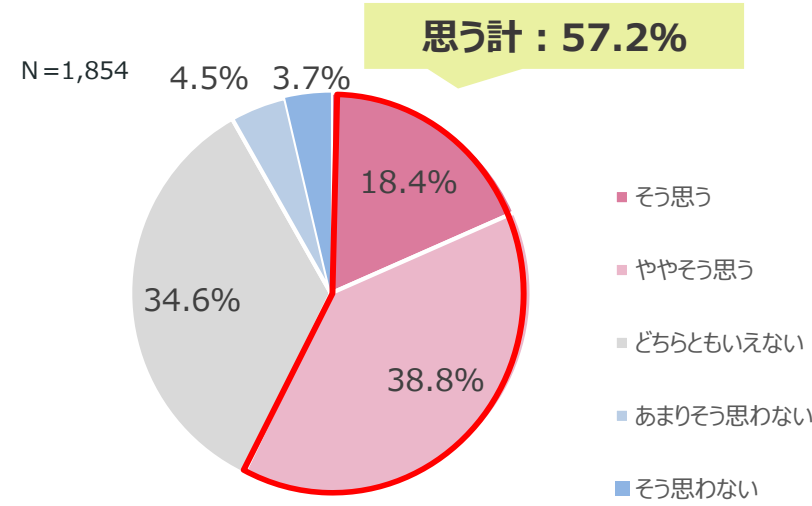
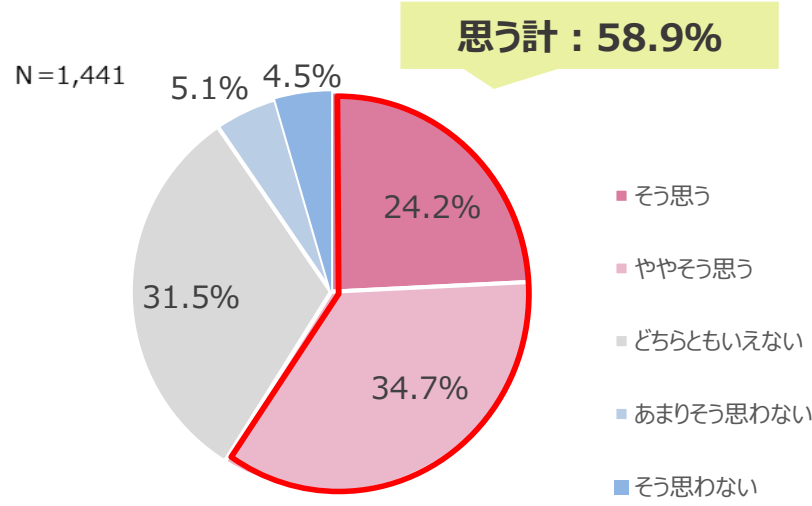
自宅でできるエンターテインメントやアートの必要性

- 【障害者】の58.9%、【健常者】の57.2%が、自宅でできるエンターテインメント体験や芸術鑑賞は以前より必要だと思うと回答した。
- 特に【障害者】では24.2%が「そう思う」と回答した。

Q11 新型コロナウイルスの影響により外出自粛が求められる中、ご自宅でできるエンターテインメント体験や芸術鑑賞は、新型コロナウイルスの影響を受ける以前より必要だと思いますか？ (SA)

障害者

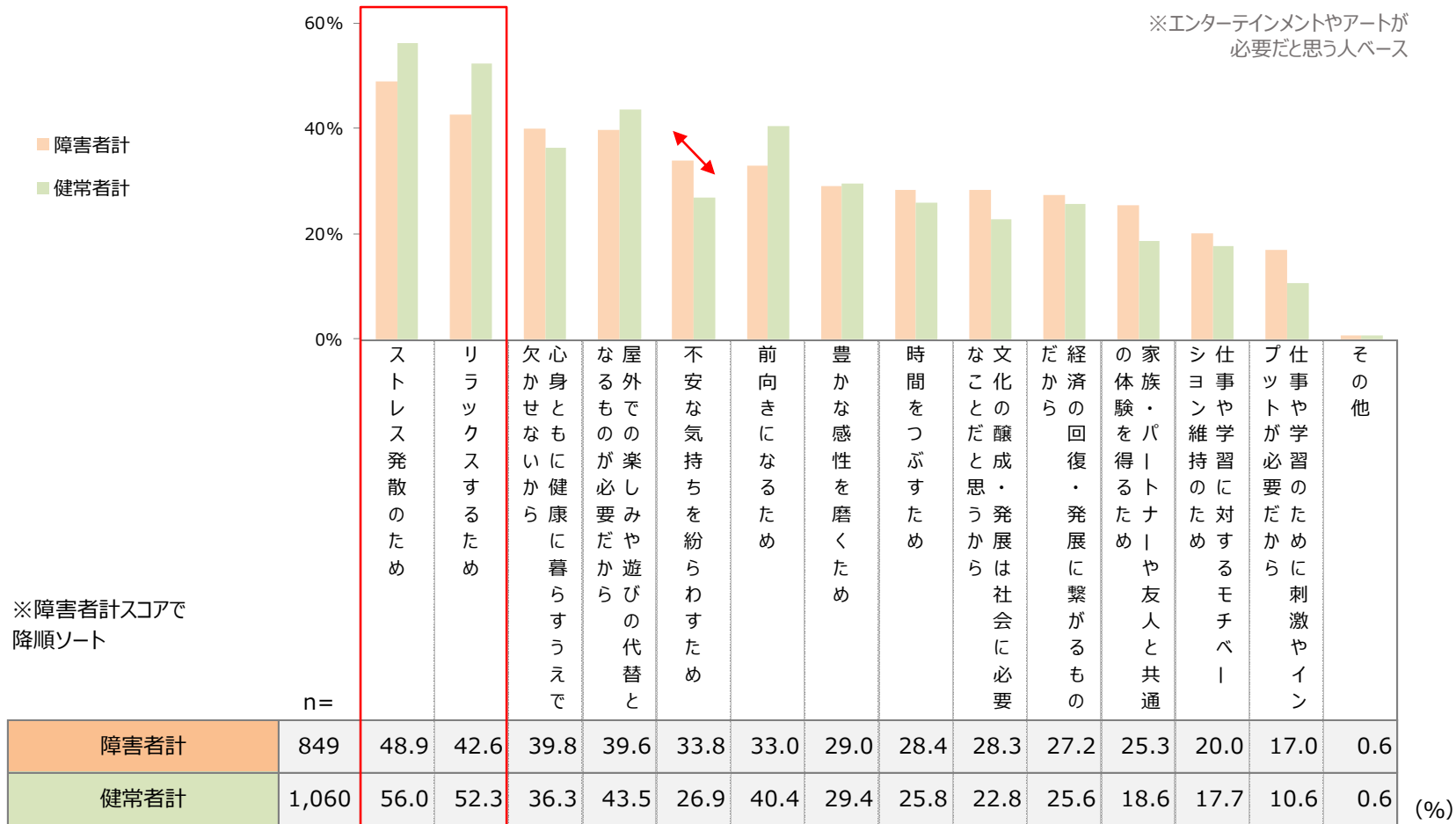
健常者



自宅でできるエンターテインメントやアートの必要性の理由

- 「ストレス発散のため」が【障害者】48.9%、【健常者】56.0%で最もスコアが高い。次いで「リラックスするため」が【障害者】42.6%、【健常者】52.3%と続く。
- 「不安な気持ちを紛らわすため」は【障害者】のスコアが【健常者】より高く、障害者が不安を感じていること、その払しょくに前向きなものとしてエンターテインメントやアートが寄与することが示唆される。

Q12 前問で、【そう思う】【ややそう思う】と回答された方へ伺います。なぜエンターテインメント体験や芸術鑑賞が必要だと思いますか？（いくつでも）(MA)

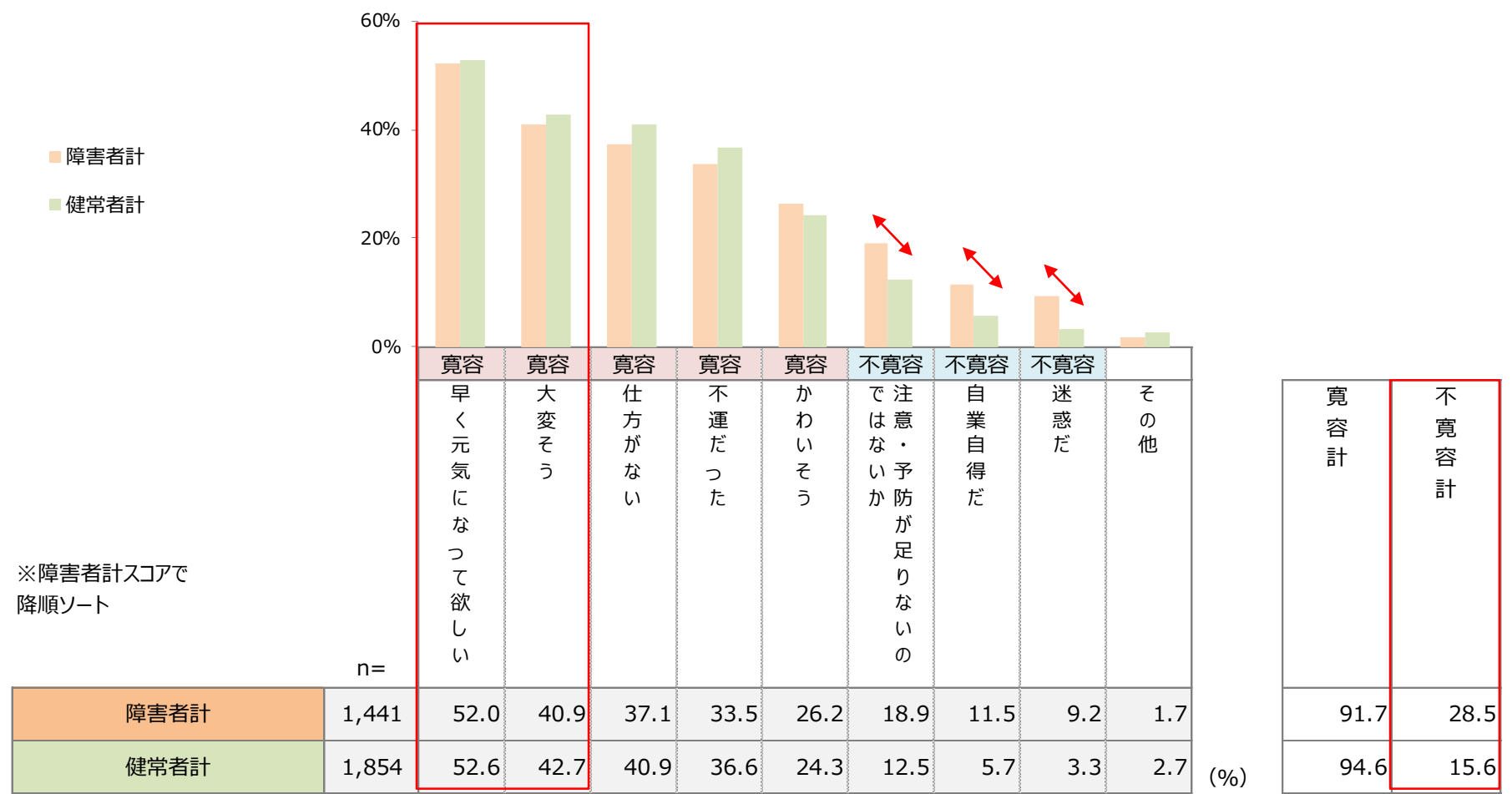


4.新型コロナウイルス感染に関する意識

新型コロナウイルス感染者に対する印象

- 【障害者】【健常者】いずれも「早く元気になって欲しい」のスコアが52.0%・52.6%で最も高い。次いで「大変そう」が【障害者】40.9%、【健常者】42.7%と続く。
- 【健常者】より【障害者】の方が「注意・予防が足りないのではないか」「自業自得だ」「迷惑だ」といった“不寛容”な印象のスコアが高い。新型コロナウイルスで不安を感じる現状から余裕が失われ、寛容性が低くなっている可能性がある。

Q13 あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまった人に対し、どう思いますか？（MA）



※障害者計スコアで降順ソート

自分が新型コロナウイルスにかかった場合の意識

- 【障害者】48.3%、【健常者】56.7%で「周囲に迷惑をかけてしまっている」のスコアが最も高い。次いで【障害者】46.8%、【健常者】45.8%で「重症化が怖い」と続く。
- 【健常者】より【障害者】の方が「適切な診療を受けられない不安がある」「医療機関の人に迷惑をかけてしまっている」のスコアが高く、現在の生活に欠かせない医療面に意識が及びやすい。

Q14 もし、あなたご自身が新型コロナウイルスに感染してしまったら、どのように思いますか？（MA）



5.新型コロナウイルス感染拡大に伴う意識の変化

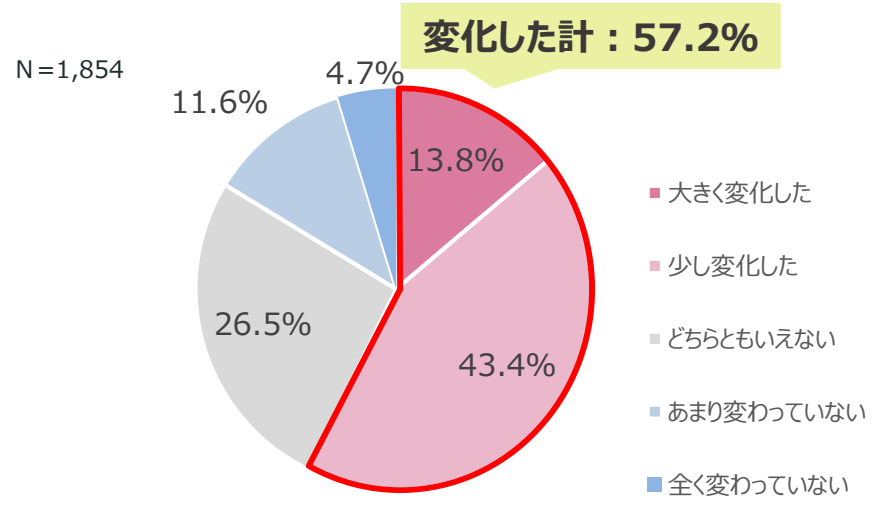
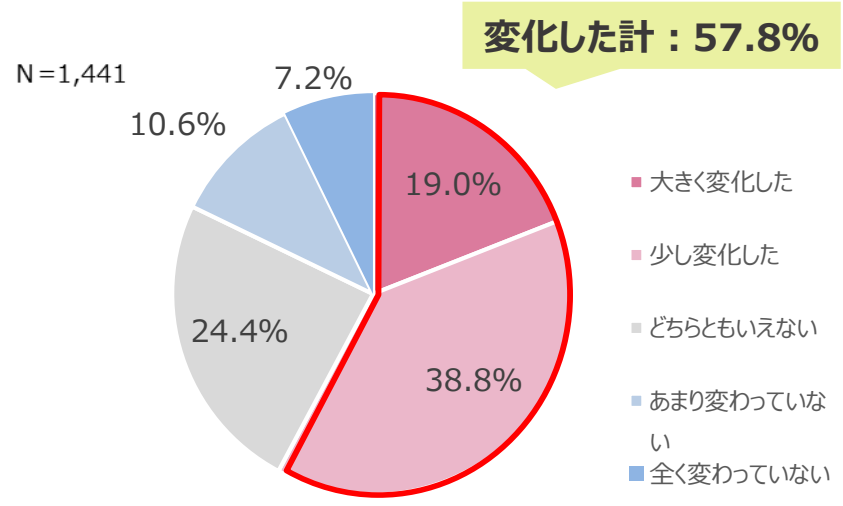
自身のライフスタイルや価値観の変化

■ 【障害者】の57.8%、【健常者】の57.2%が新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、ライフスタイルや価値観が「変化した」と回答。中でも【障害者】は全体の約2割が「大きく変化した」と回答している。

Q15 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、あなたのライフスタイルや価値観は変化しましたか？(SA)

障害者

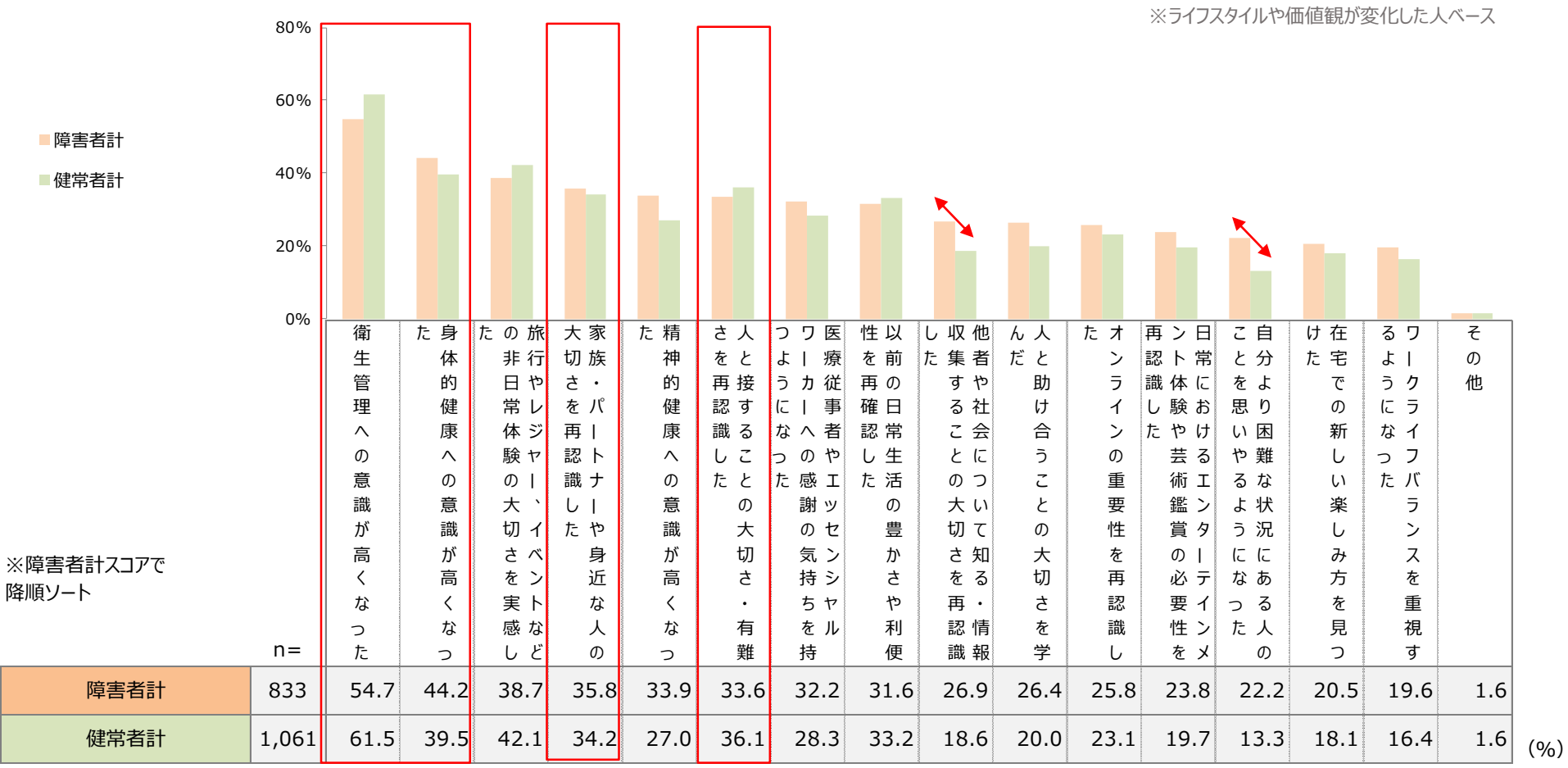
健常者



変化した価値観

- 【障害者】【健常者】ともに「衛生管理への意識が高くなった」のスコアが最も高く、次いで「身体的健康への意識が高くなった」と続く。両者に共通して、衛生・健康への意識は最たる変化と言える。
- 他に「身近な人の大切さ」「人と接することの大切さ」など人とのつながりも【障害者】【健常者】に共通する変化であるが、「他者や社会について知る大切さ」「より困難な状況の人への思いやり」など他者に対する理解・寛容の大切さは、【障害者】の方がスコアが高い。周囲でより困っている人や状況への気遣い・配慮の意識がより高まっている姿が伺える。

Q16 前問で、【変化があった】と回答された方へ伺います。具体的にどのような変化がありましたか？【実際にあった変化すべて】(MA/SAMT)



6.新型コロナウイルス収束後の生活への意識

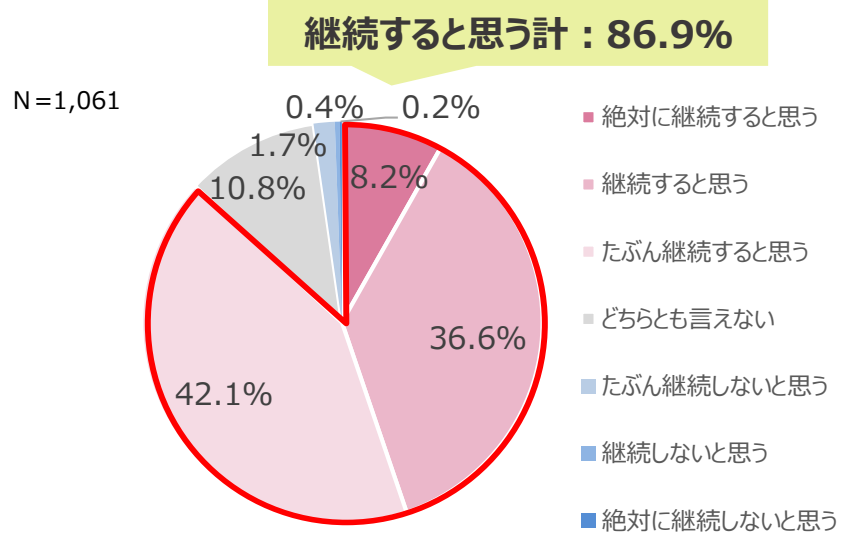
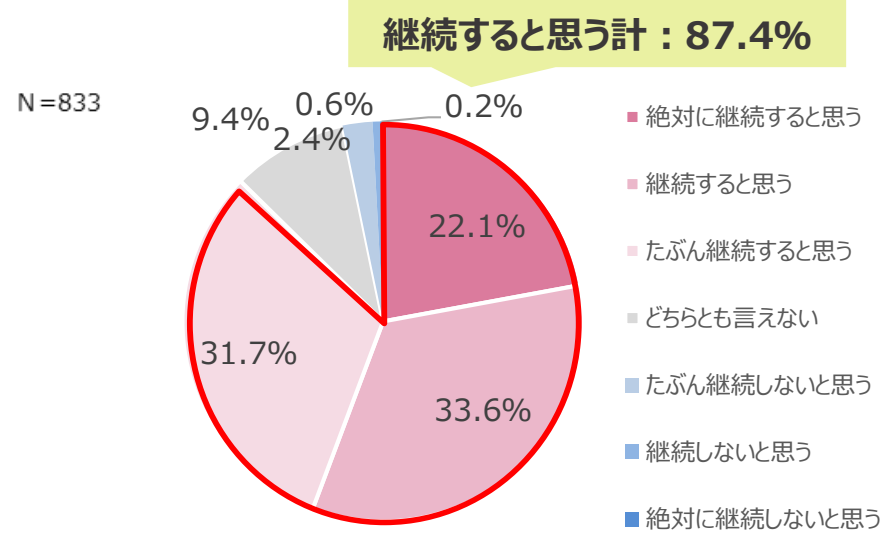
変化したライフスタイルや価値観継続の可能性

- 【障害者】の87.4%、【健常者】の86.9%が新型コロナウイルスで変化があったライフスタイルや価値観を「継続する」と回答。
- 特に障害者は「絶対に継続すると思う」が22.1%と、ここからも新型コロナウイルス感染拡大が大きな変化をもたらしていることが分かる。

Q18 Q15で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いライフスタイルや価値観が【変化があった】と回答された方へ伺います。変化があったライフスタイルや価値観は、今後も継続すると思いますか？(SA)

障害者

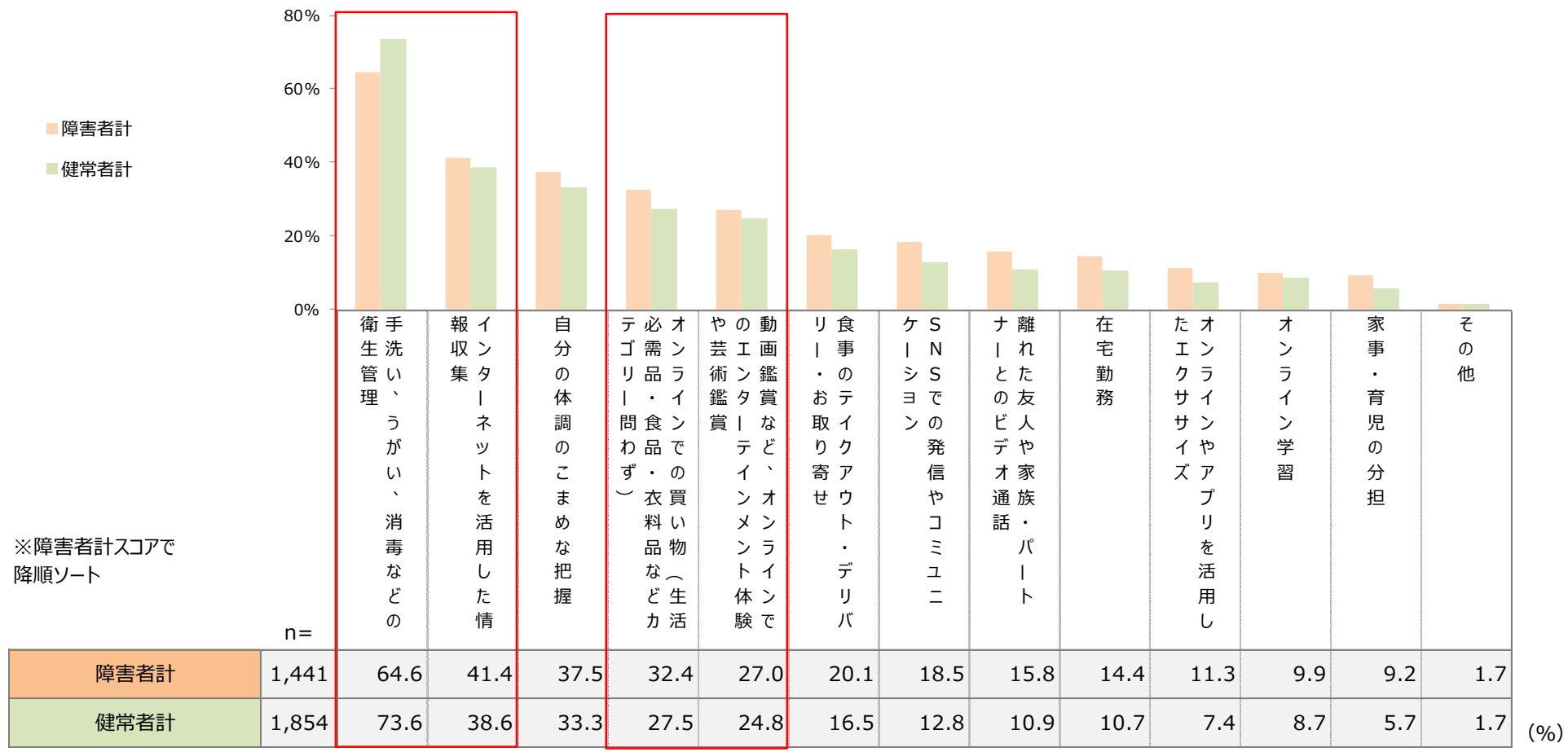
健常者



新型コロナウイルス収束後も継続していきたいこと

- 【障害者】【障害者】ともに「衛生管理」のスコアが最も高く、他項目を20pt以上上回る。次いで「情報収集」が、【障害者】【健常者】いずれも40%程度で続く。
- 「オンラインでの買い物」「動画鑑賞など、オンラインでのエンターテインメント体験や芸術鑑賞」は、衛生・健康面と情報収集に次いでスコアが高い。【障害者】【障害者】いずれにおいても、オンラインで継続的に活用したいと思われる。

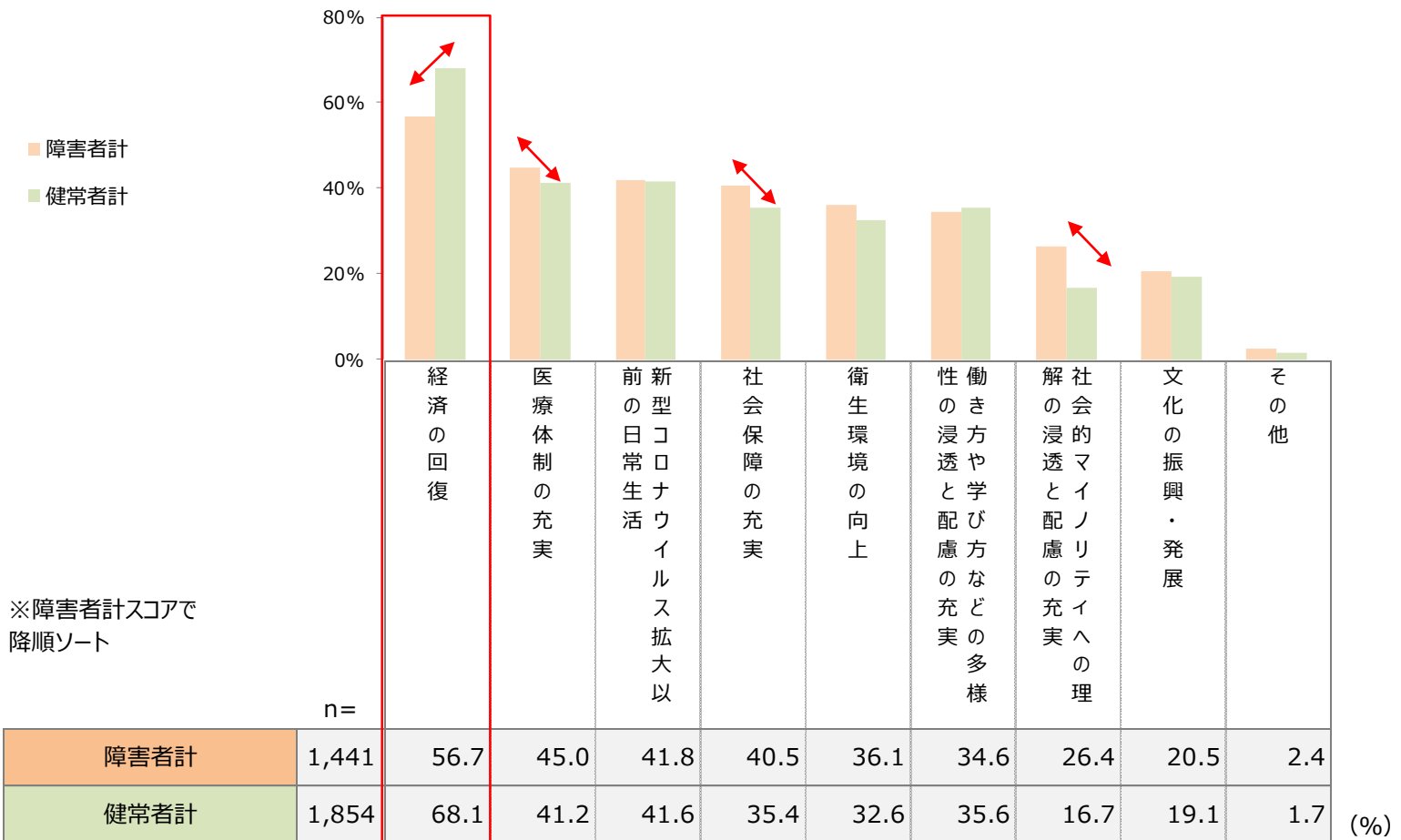
Q17 新型コロナウイルス収束後も継続していきたいことは何ですか？ (MA)



新型コロナウイルス収束後の社会に期待すること

- 【障害者】【健常者】いずれにおいても「経済の回復」のスコアが最も高い。しかし、【障害者】56.7%、【健常者】68.1%と【健常者】のスコアが10pt以上高い。
- 一方、「医療体制の充実」「社会保障の充実」「社会的マイノリティへの理解の浸透と配慮の充実」は【障害者】の方がスコアが高く、各人の生活が危ぶまれず安定していることが求められている。

Q19 新型コロナウイルス収束後の社会に期待することは何ですか？（MA）



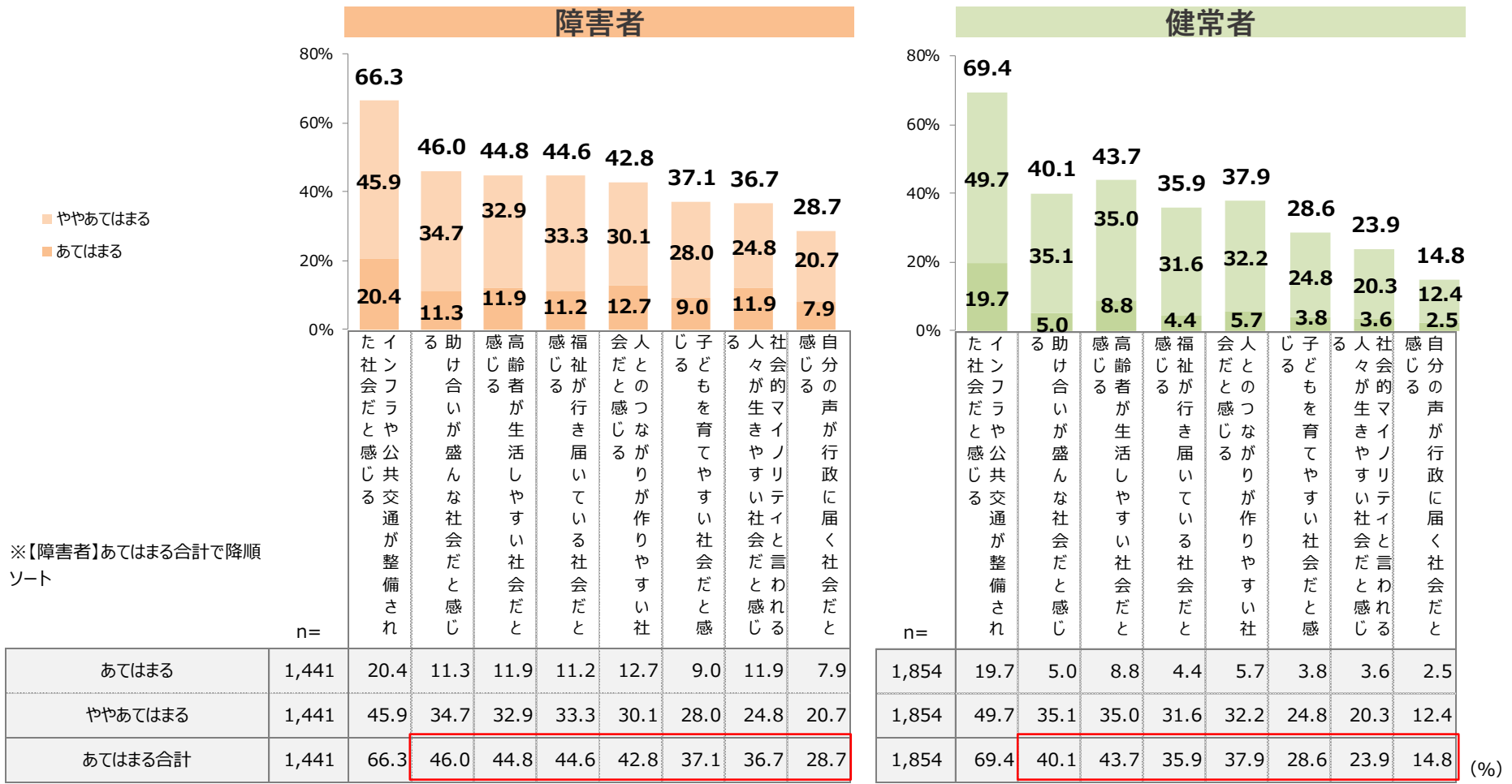
※障害者計スコアで降順ソート

7.ダイバーシティ浸透度（前回聴取設問）

日本社会の生きやすさ

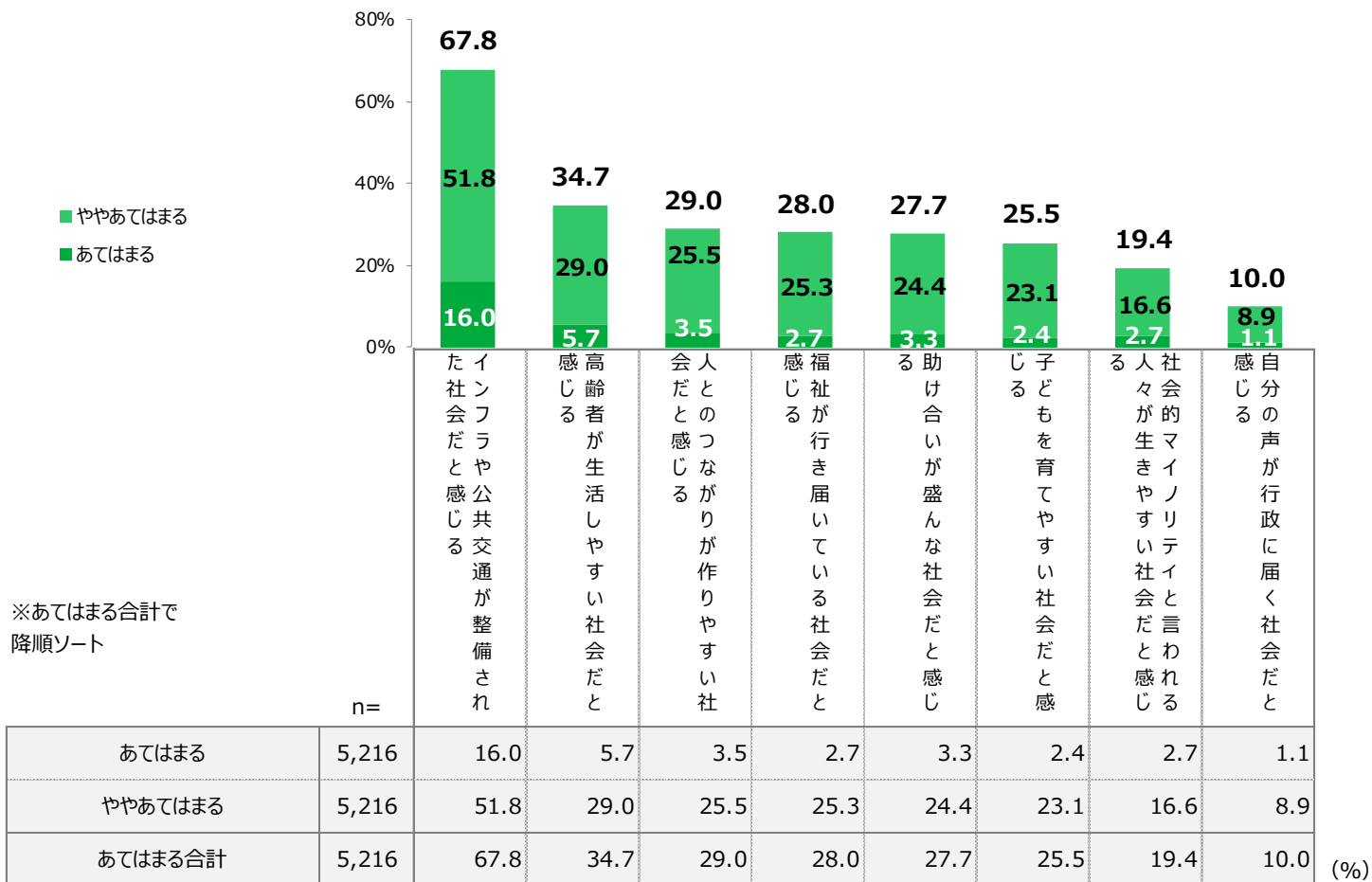
- 【障害者】【健常者】ともに「インフラや公共交通が整備された社会だと感じる」のスコアが最も高い。
- 「インフラや公共交通が整備された社会だと感じる」以外の項目全般において【健常者】より【障害者】の方が当てはまる合計のスコアが高い。日頃から社会の互助・共助を実感しやすい状況にあることが影響している可能性がある。

Q20 あなたは、現在の日本社会についてどのように感じていますか？ (SAMT)



【参考】前回調査：日本社会の生きやすさ

Q1 あなたは、現在の日本社会についてどのように感じていますか？ (SAMT)



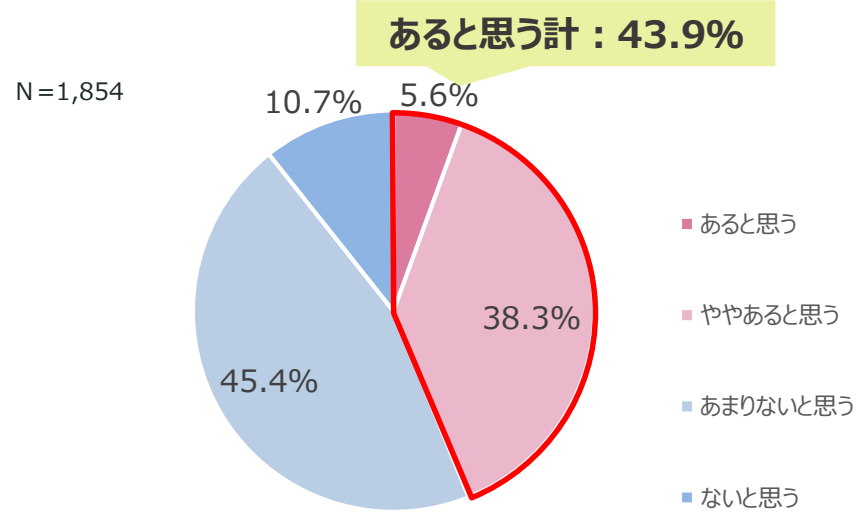
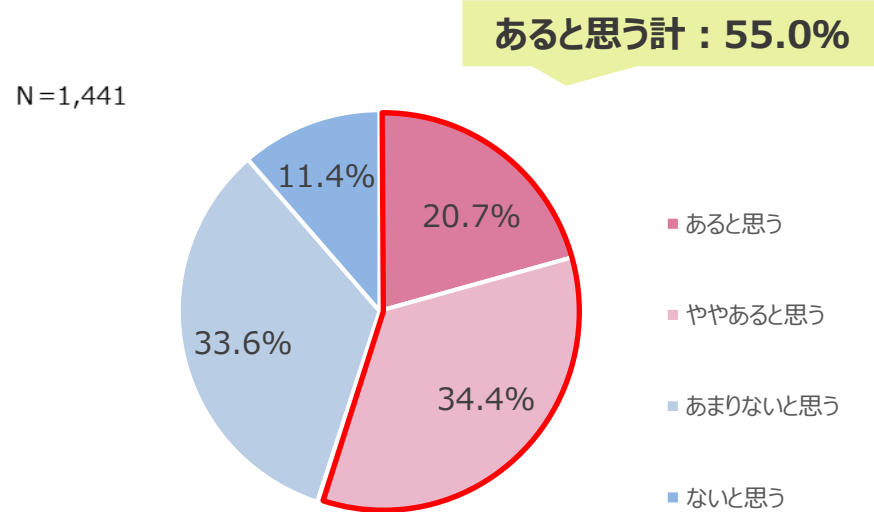
日本社会のダイバーシティ

- 【障害者】の55.0%、【健常者】の43.9%が日本社会はダイバーシティを前向きに捉えようとする流れを感じると回答した。
- 特に【障害者】は「あると思う」のスコアが20.7%で【健常者】と比べて約15pt高く、前ページと同様にダイバーシティの変化を実感しやすいといえる。

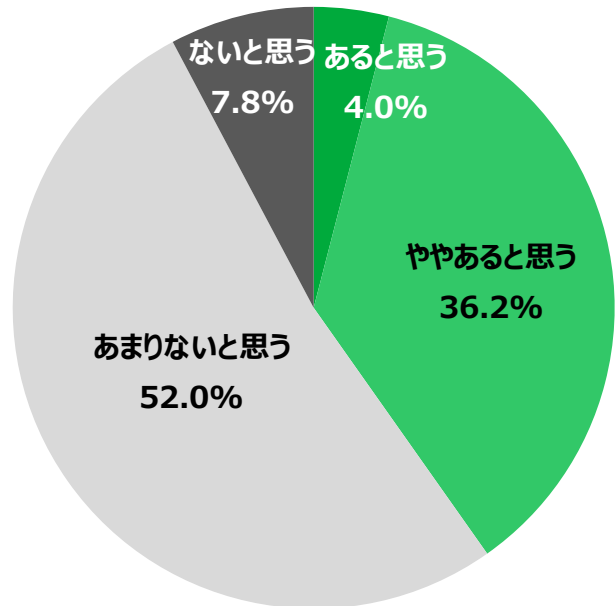
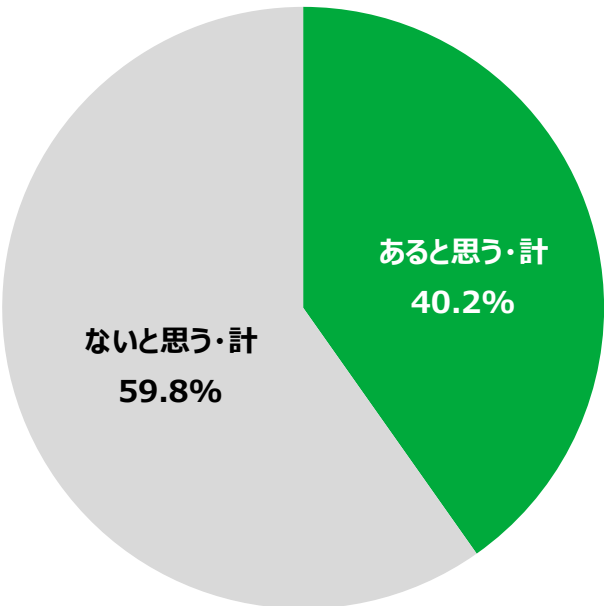
Q21 あなたは、日本社会にはダイバーシティを前向きに捉えようとする流れを感じますか？(SA)

障害者

健常者



Q あなたは、日本社会にはダイバーシティ&インクルージョンを前向きに捉えようとする流れを感じますか？
(N=5,216)



ダイバーシティに取り組む流れ

- 【障害者】の51.4%、【健常者】の47.1%が日本社会においてダイバーシティを重要な課題として取り組む自治体や企業が増えていると回答している。
- ここでも【障害者】は「増えていると思う」のスコアが14.3%で【健常者】と比べてスコアが約10pt高い。

Q22 あなたは、日本社会においてダイバーシティを重要な課題として取り組む自治体や企業が増えていると思いますか？(SA)

障害者

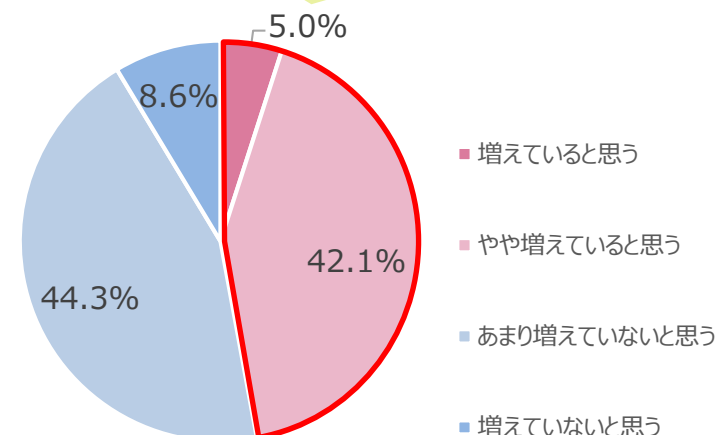
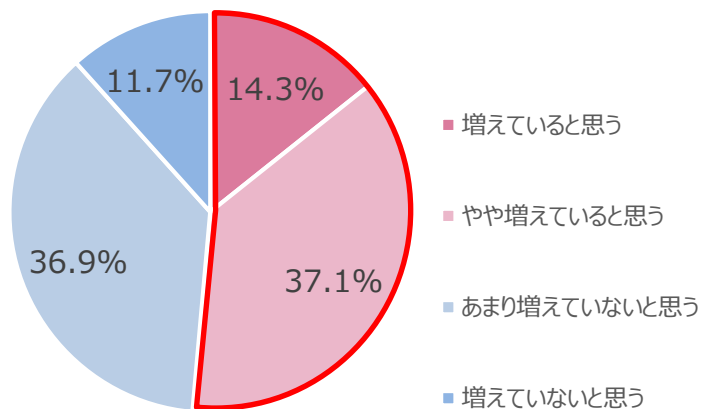
健常者

増えている計：51.4%

増えている計：47.1%

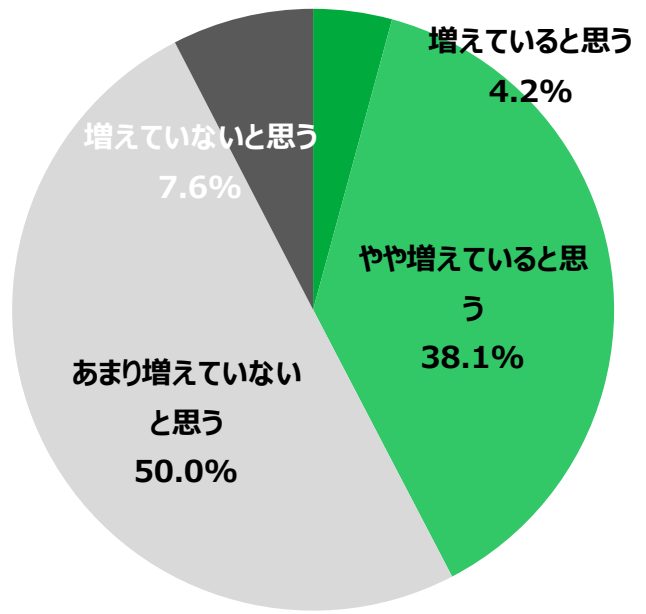
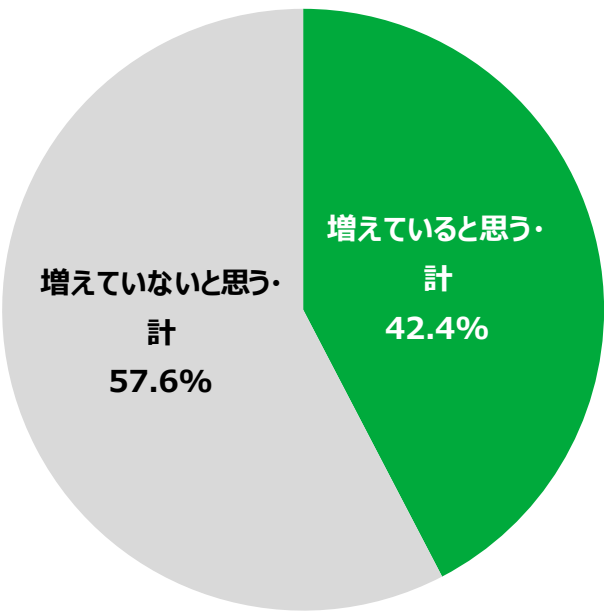
N=1,441

N=1,854



【参考】前回調査：ダイバーシティに取り組む流れ

Q あなたは、日本社会においてダイバーシティ&インクルージョンを重要な課題として取り組む自治体や企業が増えていると思いますか？
(N=5,216)



Appendix



SQ1

あなたご自身またはあなたの同居家族・パートナーがお持ちの障害がありましたら、お教えてください。（それぞれいくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- SQ1S1 1. あなたご自身
- SQ1S2 2. あなたの同居家族・パートナー

選択肢リスト

1. 視覚障害
2. 聴覚または平衡機能の障害
3. 音声機能、言語機能またはしゃく機能の障害
4. 肢体不自由
5. 内部障害
6. 知的障害
7. 精神障害（発達障害含む）
8. あてはまるものはない/答えたくない/わからない

SQ2

あなたご自身またはあなたの同居家族・パートナーは、下記のいずれかの手帳を保持していますか。（それぞれいくつでも）
※表示されている項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- SQ2S1 1. あなたご自身
- SQ2S2 2. あなたの同居家族・パートナー

選択肢リスト

1. 身体障害者手帳
2. 療育手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳
4. いずれも持っていない/答えたくない/わからない

SQ3

障害がある同居家族・パートナーの現在の年齢を教えてください。
※障害者手帳を持っている同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方の年齢をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 10歳以下
2. 11歳以上～15歳以下
3. 16歳以上～20歳以下
4. 21歳以上～25歳以下
5. 26歳以上～30歳以下
6. 31歳以上～35歳以下
7. 36歳以上～40歳以下
8. 41歳以上～45歳以下
9. 46歳以上～50歳以下
10. 51歳以上～55歳以下
11. 56歳以上～60歳以下
12. 61歳以上～65歳以下
13. 66歳以上～70歳以下
14. 71歳以上

SQ4

本アンケートでは、あなたご自身またはあなたの同居家族・パートナーの障害についてお伺いする内容がございます。
上記内容にご理解いただいたうえで、本アンケートにご回答いただけますか？
※抽選により対象にならない場合もございます。予めご了承ください。
※希望数に達した場合、アンケートは早期終了する場合がございます。

▲ 設問文を折りたたむ

1. 回答できる
2. 回答できない

Q1

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日常生活は以前と変わりましたか？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 大きく変わった
- 2. 変わった
- 3. 少し変わった
- 4. 全く変わっていない

Q2

前問で、「変わった」と回答された方へ伺います。
日常生活で変わったことは何ですか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 働き方
- 2. 学び方
- 3. 移動手段の使い方
- 4. 友人・知人との接し方
- 5. 家族・パートナーとの接し方
- 6. 自宅での過ごし方
- 7. 休日・余暇の過ごし方
- 8. 家族・パートナーとの過ごし方
- 9. 買い物の仕方
- 10. 衛生管理の仕方
- 11. 体調管理の仕方
- 12. 食事の仕方
- 13. 可処分所得の使い道
- 14. 決済方法
- 15. 趣味
- 16. その他【FA】

Q2_16FA

Q3

新型コロナウイルスの感染が拡大して以降、外出自粛をしていますか（しましたか）？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 常に外出自粛をしている
- 2. 出来る範囲で外出自粛をしている
- 3. 以前に外出自粛をしていたが今はしていない
- 4. 外出自粛をしたことがない

Q4

前問で、「【外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた】と回答された方へ伺います。
外出を自粛するために、どのようなことをしています（していました）か？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 在宅勤務をする
- 2. 自宅学習する
- 3. 公共交通機関を使わない
- 4. 混雑時に移動しない
- 5. 同居している人以外の人と直接会わない
- 6. 旅行をしない
- 7. イベントなど人の集まる所に行かない
- 8. 駅や商業施設、遊園地など混雑しそうなお店へ行かない
- 9. 病院や歯科医院、介護施設などへ行かない
- 10. 食料や日用品以外の買い物をしない
- 11. 食料や日用品の買い物の頻度を少なくする
- 12. 通販や宅配を使う
- 13. 感染症対策に不安がある場所を利用しない
- 14. 外での運動を控える
- 15. 外食をしない
- 16. その他【FA】

Q4_16FA

Q5

Q3で、「外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた」と回答された方へ伺います。
外出を自粛する中で日常生活のどんなことに不自由・苦労しています（していました）か？

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q5S1 1. 当てはまるものすべて
- Q5S2 2. 最も当てはまるもの一つ

選択肢リスト

- 1. 在宅での仕事
- 2. 在宅での学習
- 3. 在宅での育児
- 4. 在宅での介護
- 5. 自由に公共交通機関を使いたい／使えないこと
- 6. 人との距離を保つ必要があること（ソーシャルディスタンス）
- 7. 医療・福祉関係者などの手を借りず自分で対処しないといけないことが増えたこと
- 8. 必要な医療・福祉のサービスを利用しづらい／利用できないこと
- 9. 外出時のマスク着用や、消毒など衛生管理の徹底
- 10. 買い物に行きづらくなったこと
- 11. 買いたいものが品薄で買えなかったこと
- 12. 屋外やジムなどで体を動かさづらくなったこと
- 13. 外食がしづらい／できないこと
- 14. その他
- 15. 不自由・苦労してない（なかった）

FA

Q6

Q3で、「外出自粛をしている・以前に外出自粛をしていた」と回答された方へ伺います。
外出を自粛する中でどんなことを精神的に辛いと感じます（感じました）か？

▲ 設問文を折りたたむ

Q6S1
Q6S2

項目リスト

1. 当てはまるものすべて
2. 最も当てはまるもの一つ

選択肢リスト

- 1. (これまでと違う) 在宅の環境で勤務すること
- 2. 在宅勤務で、仕事が遅延したり支障をきたすこと
- 3. (これまでと違う) 在宅の環境で勉強すること
- 4. 自宅学習で、十分な勉強ができず支障をきたすこと
- 5. (これまでと違う) 在宅の環境で育児すること
- 6. (これまでと違う) 在宅の環境で介護すること
- 7. 仕事と家事の両立
- 8. 仕事と育児の両立
- 9. 仕事と介護の両立
- 10. 家族・パートナーという時間が長すぎる
- 11. 家族・パートナーや友人、恋人など親しい人に会ったり、直接話したりできないこと
- 12. 社会との壁や孤独感
- 13. 仕事・収入が減ったこと
- 14. 医療・福祉関係者などの手を借りず自分で対処しないといけないことが増えたこと
- 15. 必要な医療・福祉のサービスを利用しづらい／利用できないこと
- 16. スポーツ観戦やライブ、イベントなど集まりに参加できないこと
- 17. 買い物に行きづらくなったこと
- 18. 買いたいものが品薄で買えなかったこと
- 19. 旅行に行けないこと
- 20. 趣味やレジャーができないこと
- 21. 外出時のマスク着用や、消毒など衛生管理の徹底
- 22. 屋外やジムなどで体を動かすことができないこと
- 23. 外食がしづらい／できないこと
- 24. その他 FA
- 25. 精神的に辛いと感じない（感じなかった）

Q7

新型コロナウイルスの感染が広がる中でどのような不安を感じます（感じました）か？

▲ 設問文を折りたたむ

Q7S1
Q7S2

項目リスト

1. 当てはまるものすべて
2. 最も当てはまるもの一つ

選択肢リスト

- 1. 自身が感染すること
- 2. 自身が感染することで周囲（家族・パートナーや友人、知人、職場）に迷惑をかけること
- 3. 家族・パートナーが感染すること
- 4. 感染の収束時期
- 5. 就業状況の変化で自身の仕事が滞ること
- 6. 家族・パートナーや友人、知人との人間関係の悪化
- 7. 日常生活の変化・不便さ
- 8. 生活環境が変わらないことへのストレス
- 9. イベントや行事が中止になること
- 10. 業績悪化による自身の就職や雇用状況が変化すること
- 11. 収入の減少
- 12. 身体的健康の維持
- 13. 精神的健康の維持
- 14. 日本経済の低迷
- 15. 社会保障
- 16. その他 FA
- 17. 不安を感じない（感じなかった）

Q8

外出自粛をする前後でのご自宅での楽しみ方を教えてください。（それぞれいくつかも）
※外出自粛をしていない方は、周囲で外出自粛が推奨されていた期間の前後を比べてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

Q8S1
Q8S2

項目リスト

1. 外出自粛をする前
2. 外出自粛を経た後

選択肢リスト

- 1. 読書
- 2. 料理
- 3. テイクアウト・デリバリーでの食事
- 4. エクササイズ（オンライン以外）
- 5. 音楽鑑賞
- 6. TV視聴
- 7. 映画・ドラマ・アニメ鑑賞（オンライン以外）
- 8. スポーツ鑑賞
- 9. 絵を描く
- 10. DIY
- 11. ゲーム（オンライン以外）
- 12. 睡眠
- 13. SNSの閲覧
- 14. SNSの発信
- 15. SNSでの人とのコミュニケーション
- 16. ネットサーフィン
- 17. ウェブメディア（Yahoo!などポータルサイト、smartnewsなどニュースアプリ、雑誌・新聞のオンライン版など）の記事の閲覧
- 18. オンラインのビデオ通話で人と話す
- 19. オンライン動画配信サービスの視聴（Amazonプライム、U-NEXT、Netflixなど）
- 20. オンライン動画サイトの視聴（youtube、niconicoなど）
- 21. オンラインでの芸術鑑賞（音楽、演劇、アートなど）
- 22. オンラインでのバーチャル旅行
- 23. オンラインショッピング・お取り寄せ
- 24. オンライン学習
- 25. オンラインゲーム
- 26. オンラインエクササイズ
- 27. その他
- 28. 楽しみはない（なかった）

Q9

新型コロナウイルスの影響により、外出を自粛したことで感じた「良かったこと」は何ですか？（いくつでも）
※外出自粛をしていない方は、外出自粛が推奨されていた期間についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 在宅勤務がしやすくなった
- 2. 満員電車での通勤が減った（なくなった）
- 3. オンライン学習がしやすくなった
- 4. 通勤・通学時間を自宅での仕事や学習、休息に活用できた
- 5. 家族・パートナーとの時間が増えた
- 6. 仕事と育児・介護の両立がしやすくなった
- 7. 人と接することの大切さを認識できた
- 8. 周囲の人に支えられながら生活していることを実感できた
- 9. 自分のペースで生活ができた
- 10. 在宅での新たな楽しみを見つけられた
- 11. 旅行やレジャー、イベントなどの非日常体験の大切さを実感できた
- 12. 今までの時間の使い方を見つめなおすことが出来た
- 13. 日常生活においてオンライン化が進んだ
- 14. 多くの人が、制限ある不自由な生活の大変さを経験した
- 15. 今までのお金の使い方を見つめなおすことが出来た
- 16. 健康の大切さを実感できた
- 17. その他【FA】
- 18. 特になし

Q10

外出自粛中の情報収集について、あなたの状況に当てはまるものをお答えください。（いくつでも）
※外出自粛をしていない方は、外出自粛が推奨されていた期間についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前よりニュースをテレビやウェブで見る機会が増えた
- 2. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前より自ら積極的に情報を得る機会が増えた
- 3. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前よりニュースをテレビやウェブで見る機会が減った
- 4. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前より自ら積極的に情報を得る機会が減った
- 5. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前よりも必要な情報や正しい情報を選択するよう心掛けた
- 6. （新型コロナウイルスの感染拡大の）以前よりも海外のニュースを見る機会が増えた
- 7. 新型コロナウイルスに関する情報を毎日チェックした
- 8. 前向きな気持ちになれる情報を集めるようになった
- 9. 必要な情報を十分に得づらかった／得られなかった
- 10. 必要な情報を取捨選択するのに疲れた
- 11. 情報に触れると気持ちが悪くなるようになった
- 12. その他【FA】

Q11

新型コロナウイルスの影響により外出自粛が求められる中、ご自宅でもできるエンターテインメント体験や芸術鑑賞は、新型コロナウイルスの影響を受ける以前より必要だと思いますか？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. どちらともいえない
- 4. あまりそう思わない
- 5. そう思わない

Q12

前問で、【そう思う】【ややそう思う】と回答された方へ伺います。
なぜエンターテインメント体験や芸術鑑賞が必要だと思いますか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 家族・パートナーや友人と共通の体験を得るため
- 2. 仕事や学習に対するモチベーション維持のため
- 3. 仕事や学習のために刺激やインプットが必要だから
- 4. 前向きになるため
- 5. ストレス発散のため
- 6. 豊かな感性を磨くため
- 7. リラックスするため
- 8. 不安な気持ちを紛らすため
- 9. 時間をつぶすため
- 10. 心身ともに健康に暮らすうえで欠かせないから
- 11. 屋外での楽しみや遊びの代替となるものが必要だから
- 12. 文化の醸成・発展は社会に必要なことだと思うから
- 13. 経済の回復・発展に繋がるものだから
- 14. その他【FA】

Q12_14FA

Q13

あなたは、新型コロナウイルスに感染してしまった人に対し、どう思いますか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 大変そう
- 2. かわいそう
- 3. 早く元気になって欲しい
- 4. 仕方がない
- 5. 不運だった
- 6. 自業自得だ
- 7. 迷惑だ
- 8. 注意・予防が足りないのではないかな
- 9. その他【FA】

Q13_9FA

Q14

もし、あなたご自身が新型コロナウイルスに感染してしまったら、どのように思いますか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 申し訳ない
- 2. 周囲（家族やパートナー・職場・友人知人）に迷惑をかけてしまっている
- 3. 医療機関の人に迷惑をかけてしまっている
- 4. 周囲の人から差別や非難をされないか不安だ
- 5. ネットなどで誹謗・中傷されないか不安だ
- 6. 仕方がない
- 7. 不運だった
- 8. 感染させた人が憎らしい
- 9. 自業自得だ
- 10. 恥ずかしい
- 11. 重症化が怖い
- 12. 適切な診療を受けられない不安がある
- 13. その他【FA】

Q14_13FA

Q15

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、あなたのライフスタイルや価値観は変化しましたか？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 大きく変化した
- 2. 少し変化した
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり変わっていない
- 5. 全く変わっていない

Q16

前問で、「変化があった」と回答された方へ伺います。
具体的にどのような変化がありましたか？

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q16S1
Q16S2

1. 実際にあった変化すべて
2. 最も大きな変化ひとつ

選択肢リスト

- 1. ワークライフバランスを重視するようになった
- 2. 家族・パートナーや身近な人の大切さを再認識した
- 3. 人と接することの大切さ・有難さを再認識した
- 4. 人と助け合うことの大切さを学んだ
- 5. オンラインの重要性を再認識した
- 6. 以前の日常生活の豊かさや利便性を再確認した
- 7. 在宅での新しい楽しみ方を見つけた
- 8. 旅行やレジャー、イベントなどの非日常体験の大切さを実感した
- 9. 日常におけるエンターテインメント体験や芸術鑑賞の必要性を再認識した
- 10. 身体的健康への意識が高くなった
- 11. 精神的健康への意識が高くなった
- 12. 自分より困難な状況にある人のことを思いやるようになった
- 13. 医療従事者やエッセンシャルワーカーへの感謝の気持ちを持つようになった
- 14. 他者や社会について知る・情報収集することの大切さを再認識した
- 15. 衛生管理への意識が高くなった
- 16. その他

FA

Q17

新型コロナウイルス収束後も継続していきたいことは何ですか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 在宅勤務
- 2. オンライン学習
- 3. 家事・育児の分担
- 4. 離れた友人や家族・パートナーとのビデオ通話
- 5. 動画鑑賞など、オンラインでのエンターテインメント体験や芸術鑑賞
- 6. SNSでの発信やコミュニケーション
- 7. オンラインでの買い物（生活必需品・食品・衣料品などカテゴリー問わず）
- 8. 手洗い、うがい、消毒などの衛生管理
- 9. 自分の体調のこまめな把握
- 10. オンラインやアプリを活用したエクササイズ
- 11. 食事のテイクアウト・デリバリー・お取り寄せ
- 12. インターネットを活用した情報収集
- 13. その他【FA】

Q17_13FA

Q18

Q15で、「新型コロナウイルスの感染拡大に伴いライフスタイルや価値観が〔変化があった〕と回答された方へ伺います。
変化があったライフスタイルや価値観は、今後も継続すると思いますか？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 絶対に継続すると思う
- 2. 継続すると思う
- 3. たぶん継続すると思う
- 4. どちらとも言えない
- 5. たぶん継続しないと思う
- 6. 継続しないと思う
- 7. 絶対に継続しないと思う

Q19

新型コロナウイルス収束後の社会に期待することは何ですか？（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 新型コロナウイルス拡大以前の日常生活
- 2. 経済の回復
- 3. 衛生環境の向上
- 4. 医療体制の充実
- 5. 社会保障の充実
- 6. 働き方や学び方などの多様性の浸透と配慮の充実
- 7. 社会的マイノリティへの理解の浸透と配慮の充実
- 8. 文化の振興・発展
- 9. その他【FA】

Q19_9FA

Q20

あなたは、現在の日本社会についてどのように感じていますか？

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q20S1 1. インフラや公共交通が整備された社会だと感じる
- Q20S2 2. 人とのつながりが作りやすい社会だと感じる
- Q20S3 3. 自分の声が行政に届く社会だと感じる
- Q20S4 4. 福祉が行き届いている社会だと感じる
- Q20S5 5. 助け合いが盛んな社会だと感じる
- Q20S6 6. 子どもを育てやすい社会だと感じる
- Q20S7 7. 社会的マイノリティと言われる人々が生きやすい社会だと感じる
- Q20S8 8. 高齢者が生活しやすい社会だと感じる

選択肢リスト

- 1. あてはまる
- 2. ややあてはまる
- 3. あまりあてはまらない
- 4. あてはまらない

Q21

あなたは、日本社会にはダイバーシティを前向きに捉えようとする流れを感じますか？
※本設問における「ダイバーシティ」については、すべて『多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。たとえば労働環境における人材の多様性は、年齢や性別はもちろん学歴・職歴、国籍・人種・民族、性的指向・性自認などの多様性を受け入れ、広く人材を活用、むしろ積極的に採用していく取り組みなどを指す意味』としてお考えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. あると思う
- 2. ややあると思う
- 3. あまりないと思う
- 4. ないと思う

Q22

あなたは、日本社会においてダイバーシティを重要な課題として取り組む自治体や企業が増えていると思いますか？

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 増えていると思う
- 2. やや増えていると思う
- 3. あまり増えていないと思う
- 4. 増えていないと思う

Q23

あなたの身体障害者手帳の等級はどれですか。
※代理回答の方は、事前のアンケートでお答えいただいた身体障害者手帳をお持ちのご家族・パートナーの方の等級をお選びください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 1級
- 2. 2級
- 3. 3級
- 4. 4級
- 5. 5級
- 6. 6級
- 7. 7級
- 8. 等級はわからない

Q24

あなたの療育手帳の等級はどれですか。
※代理回答の方は、事前のアンケートでお答えいただいた療育手帳をお持ちのご家族・パートナーの方の等級をお選びください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 最重度（1度/A1など）
- 2. 重度（2度/A2など）
- 3. 中度（3度/B1など）
- 4. 低度（4度/B2など）
- 5. 等級はわからない

Q25

あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級はどれですか。
※代理回答の方は、事前のアンケートでお答えいただいた精神障害者保健福祉手帳をお持ちのご家族・パートナーの方の等級をお選びください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 1級
- 2. 2級
- 3. 3級
- 4. 等級はわからない

Q26

あなたは普段の生活の中で、補助・介護が必要なものはどれですか。（いくつでも）
※代理回答の方は、事前のアンケートでお答えいただいた障害をお持ちのご家族・パートナーの状況にあてはまるものをお選びください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 入浴
- 2. 移動・移乗・歩行
- 3. 食事
- 4. 排泄
- 5. 起床および就寝
- 6. 外出
- 7. 服薬
- 8. 掃除・洗濯
- 9. ベッドメイク
- 10. 調理
- 11. 配下膳
- 12. 買い物
- 13. 薬の受け取り
- 14. その他【FA】 Q26_14FA
- 15. 特になし

Q28

事前のアンケートでお答えいただいた障害のあるご家族・パートナーとはどのような関係性ですか。
例) 障害を持っているのがあなたのご両親の場合、選択肢4.父・母をお選びください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 配偶者
- 2. 子供
- 3. 孫
- 4. 父・母
- 5. 祖父・祖母
- 6. 兄弟・姉妹
- 7. 上記以外の親族
- 8. 友人・恋人
- 9. その他【FA】 Q28_9FA

Q27

事前のアンケートでお答えいただいた障害のあるご家族・パートナーの性別を教えてください。
※複数あてはまる場合は、同居家族・パートナーの中で、最も年齢の低い方についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他